



「第4期三木市教育振興基本計画」の策定に向けた
こども等を対象とした意見聴取（アンケート）

実施結果報告書

2025（令和7）年8月
三木市教育委員会

目 次

1	実施目的	．．．．．	2
2	実施対象及び実施手段	．．．．．	2
3	実施期間	．．．．．	2
4	回答者総数及び回答率	．．．．．	2
5	小学1年生～小学3年生の意見聴取（3問）の結果	．．．．．	3
6	小学4年生～中学3年生の意見聴取（6問）の結果	．．．．．	6
7	就学前児童の保護者の意見聴取（9問）の結果	．．．．．	12
8	小・中学生の保護者の意見聴取（12問）の結果	．．．．．	21
9	就学前児童の保護者向けアンケートにおける「自由記述」の内容	．．．．．	33
10	小・中学生の保護者向けアンケートにおける「自由記述」の内容	．．．．．	36
11	アンケート用紙	．．．．．	40

1 実施目的

子どもたちが考える理想の学びや学校教育に関する価値観を「第4期三木市教育振興基本計画」（計画期間：2026（令和8）年度～2030（令和12）年度）に反映する。

子どもの意見聴取に合わせ、子どもを養育する者（保護者）に対しても同様に意見聴取を行う。

2 実施対象及び実施手段

実施対象	実施手段
(1) 小学1年生～中学3年生	学校の Forms
(2) (1)の保護者	市教育委員会学校連絡システム（すぐーる）
(3) 就学前児童の保護者	三木市電子申請システム

3 実施期間

2025（令和7）年7月1日（火）～2025（令和7）年7月17日（木）
[17日間]

4 回答者総数及び回答率

（単位：人、％）

対象区分	設問数	対象者 総 数 (A)	回答者 総 数 (B)	回答率 (B)／(A)
(1) 小学1年生 ～小学3年生	3	1,447	1,114	77.0
(2) 小学4年生 ～中学3年生	6	3,395	2,387	70.3
(3) (1)及び(2)の保護者	12	(※) 5,333	1,295	24.3
(4) 就学前児童の保護者	9	1,877	452	24.1
合 計	—	12,052	5,248	43.5

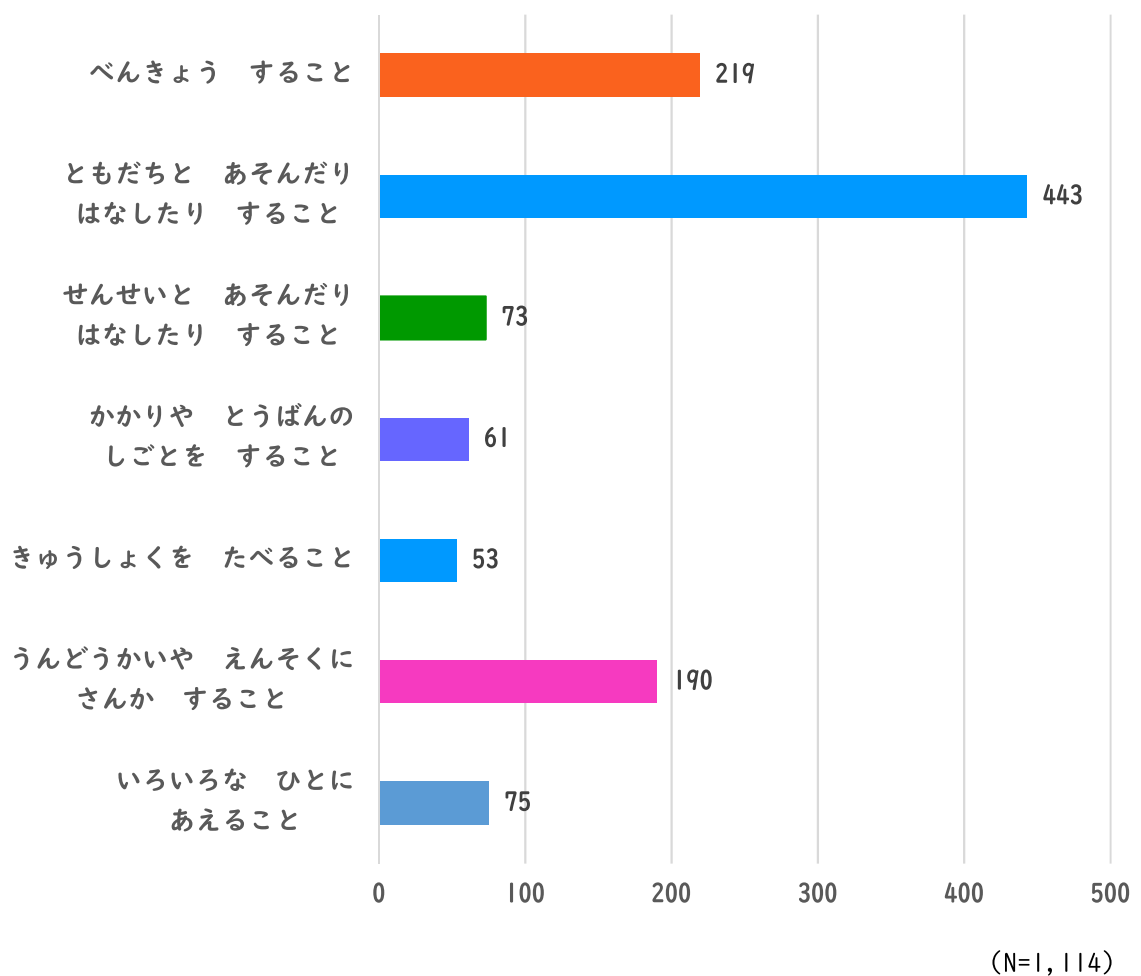
（※）市教育委員会学校連絡システム（すぐーる）の登録者数

5 小学1年生～小学3年生の意見聴取（3問）の結果

■しつもん！ あなたが がっこうで たのしい ことは なんですか。
つぎの なかから ひとつだけ えらんで ください。

「ともだちと あそんだり はなしたり すること」が全体の4割を占めており、「べんきょう すること」（2割）の2倍に相当します。

友達との交流が学校生活の最大の楽しみであることを示しており、これは、学校の存在意義であるともいえます。

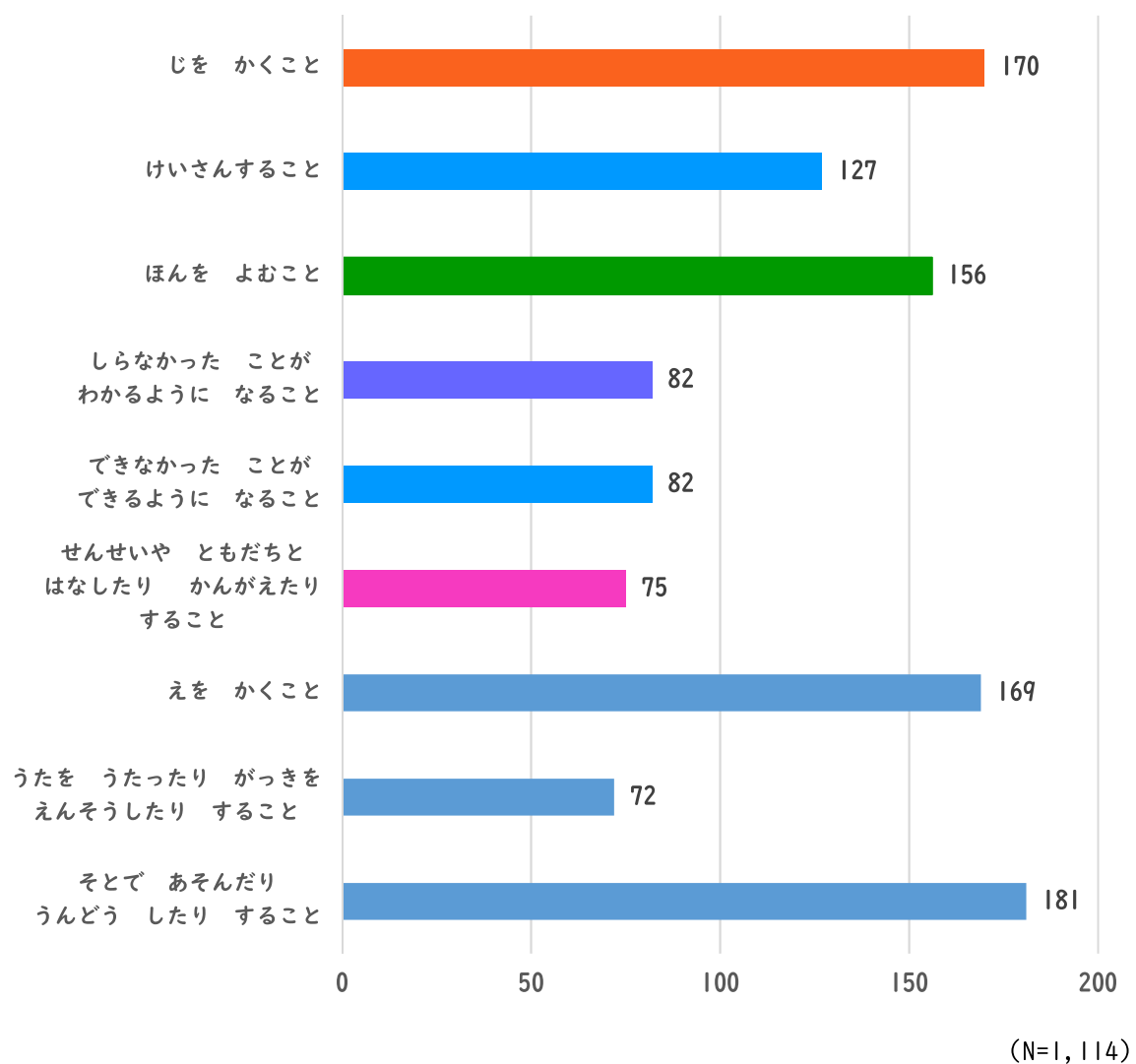


■しつもん2 あなたが がっこうの べんきょうで たのしい ことは 为什么呢。つぎの なかから ひとつだけ えらんで ください。

「そとで あそんだり うんどう したり すること」のほか、「じを かくこと」「えを かくこと」「ほんを よむこと」などが回答の上位を占めています。

読み・書き・計算だけでなく、図画工作のような表現活動も、子どもたちにとっては等しく「楽しい勉強」であることが分かります。

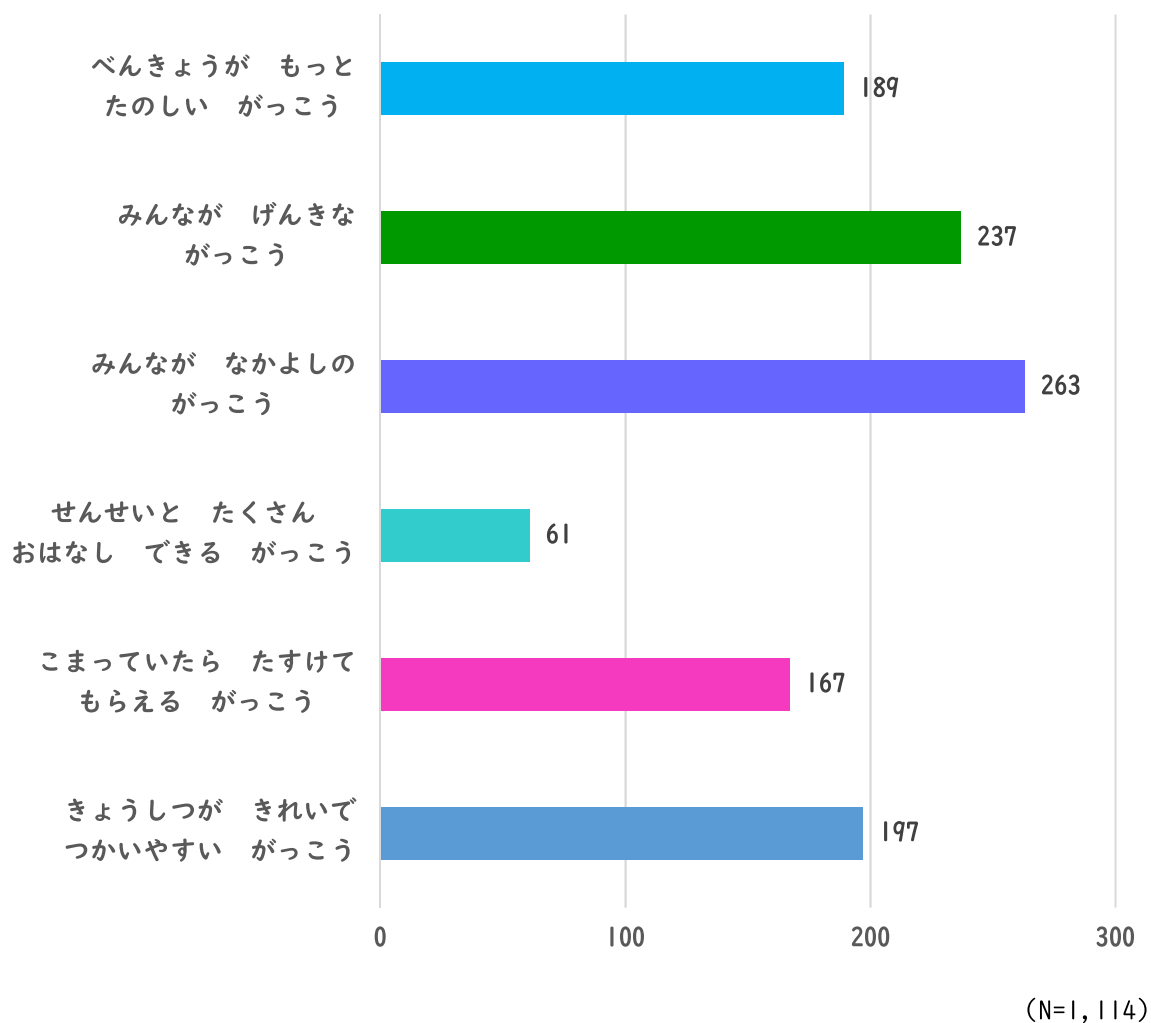
回答が分散していることからみても、学習における楽しさの根源は多様であるといえます。



■しつもん3 どんな がっこうが たのしい ですか。
つぎの なかから ひとつだけ えらんで ください。

「みんなが なかよしの がっこう」(24%)、「みんなが げんきな がっこう」(21%)に回答が多く集まっています。

子どもたちが学校に求める最も根源的なニーズは、いじめなどがなく、誰もが安心して過ごせる「心理的安全性」の確保であるといえます。

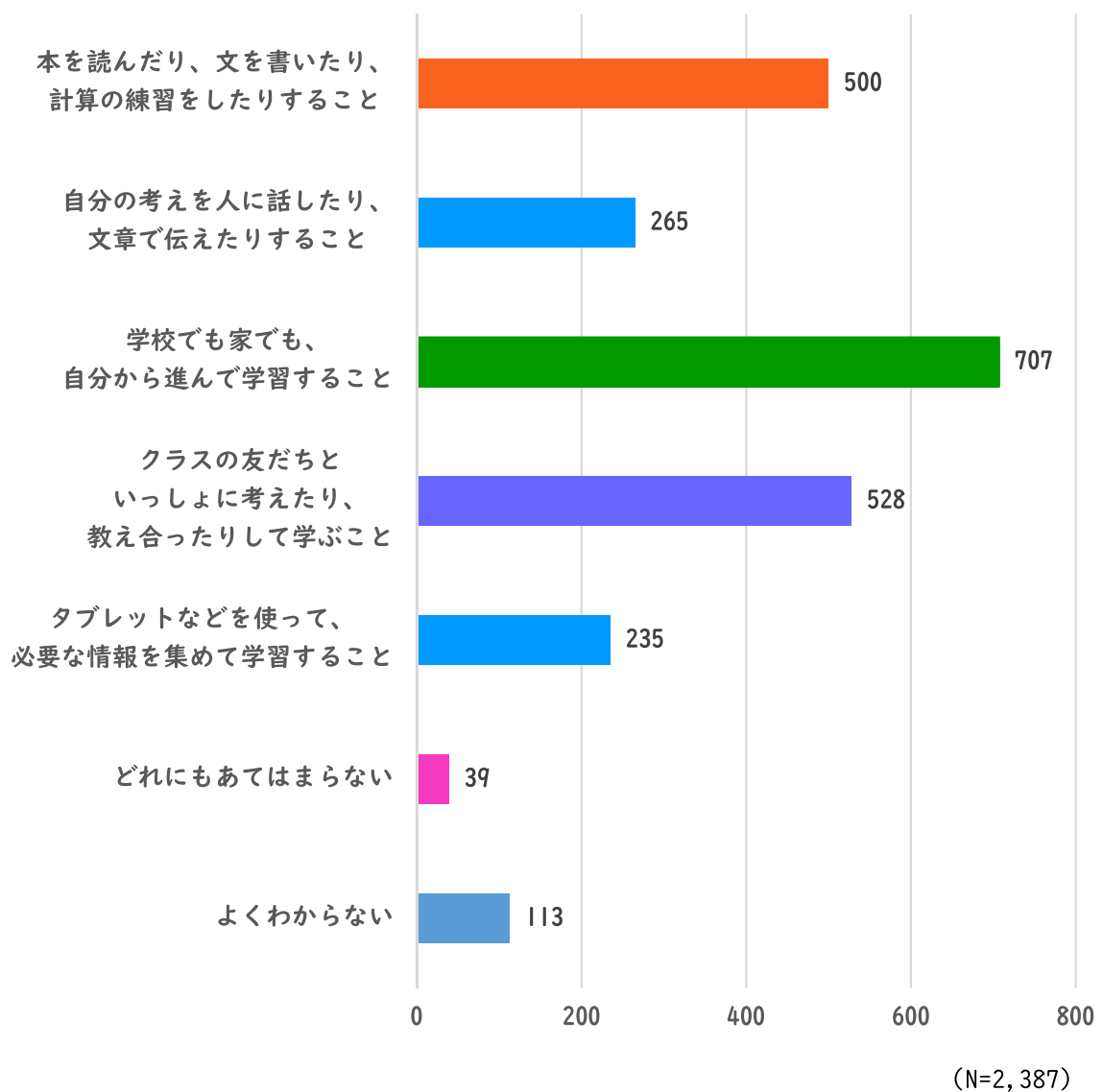


6 小学4年生～中学3年生の意見聴取（6問）の結果

Q1 学校(がっこう)や家(いえ)で学習(がくしゅう)するときに、大切(たいせつ)だと思(おも)うことは何(なん)ですか？

「学校でも家でも、自分から進んで学習すること」(30%)が最多となっています。

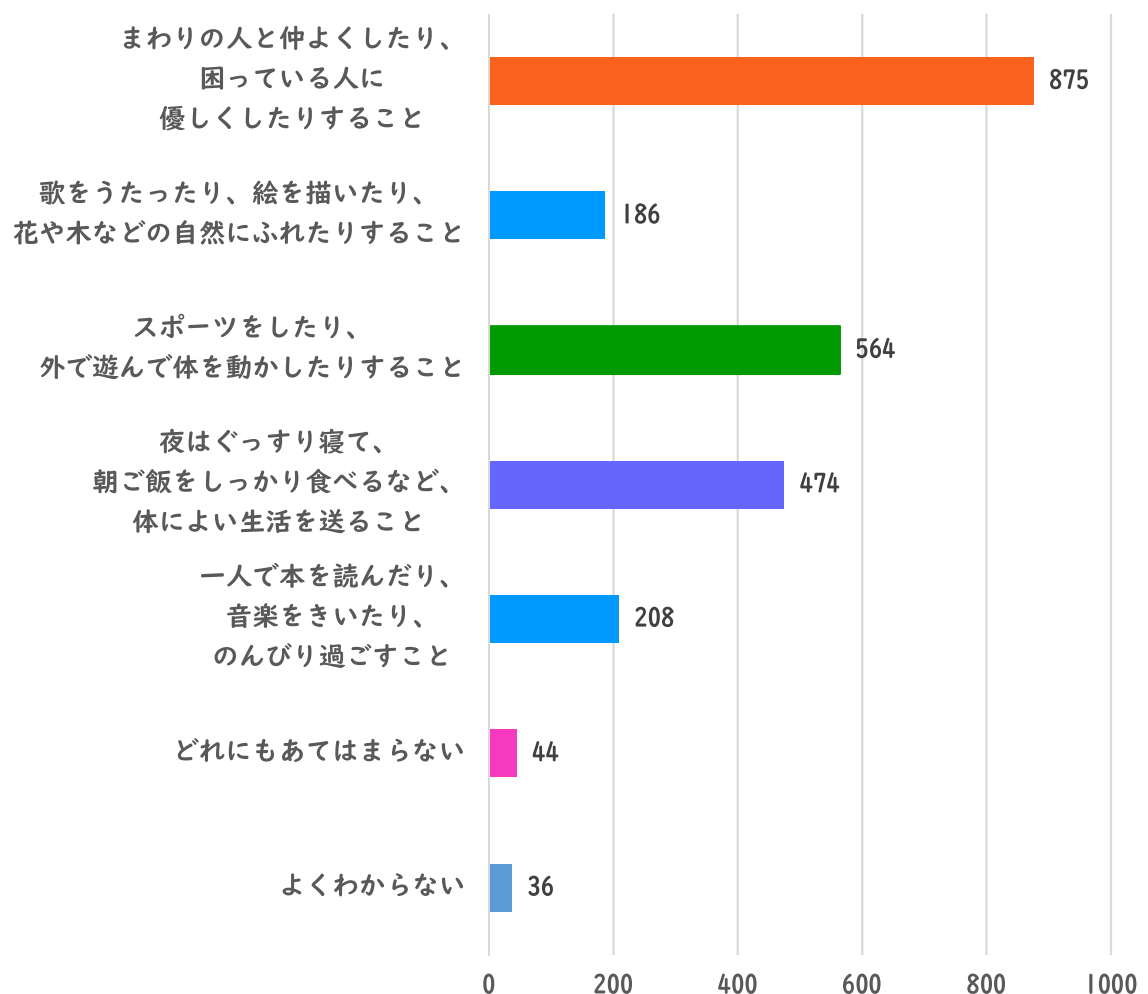
小学校高学年や中学生になると、学習における「主体性・自律性」を重視する意識へ成長していることが分かります。



Q2 毎日(まいにち)を元気(げんき)に過(す)ごすために、自分(じぶん)で大切(たいせつ)にしたいことは何(なん)ですか？

「まわりの人と仲よくしたり、困っている人に優しくしたりすること」(37%)、「スポーツをしたり、外で遊んで体を動かしたりすること」(24%)、「夜はぐっすり寝て、朝ご飯をしっかりと食べるなど、体によい生活を送ること」(20%)が回答の多くを占めました。

子どもたち自身が大切にしたいこととして、正しい生活習慣以上に人間関係を重要視していることが分かります。

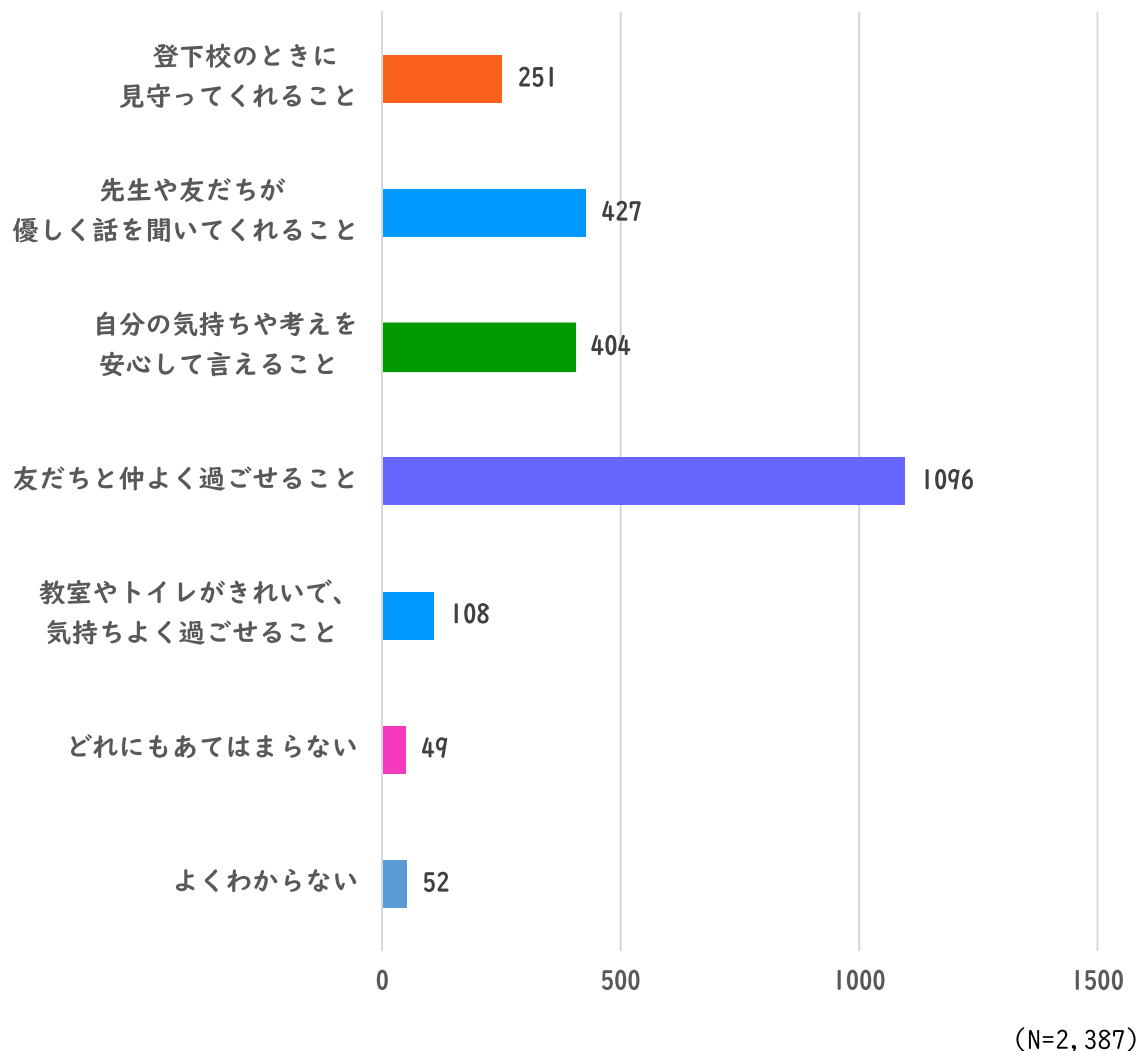


(N=2,387)

Q3 学校(がっこう)で安心(あんしん)して過(す)ごすために、大切(たいせつ)だと思(おも)うことは何(なん)ですか？

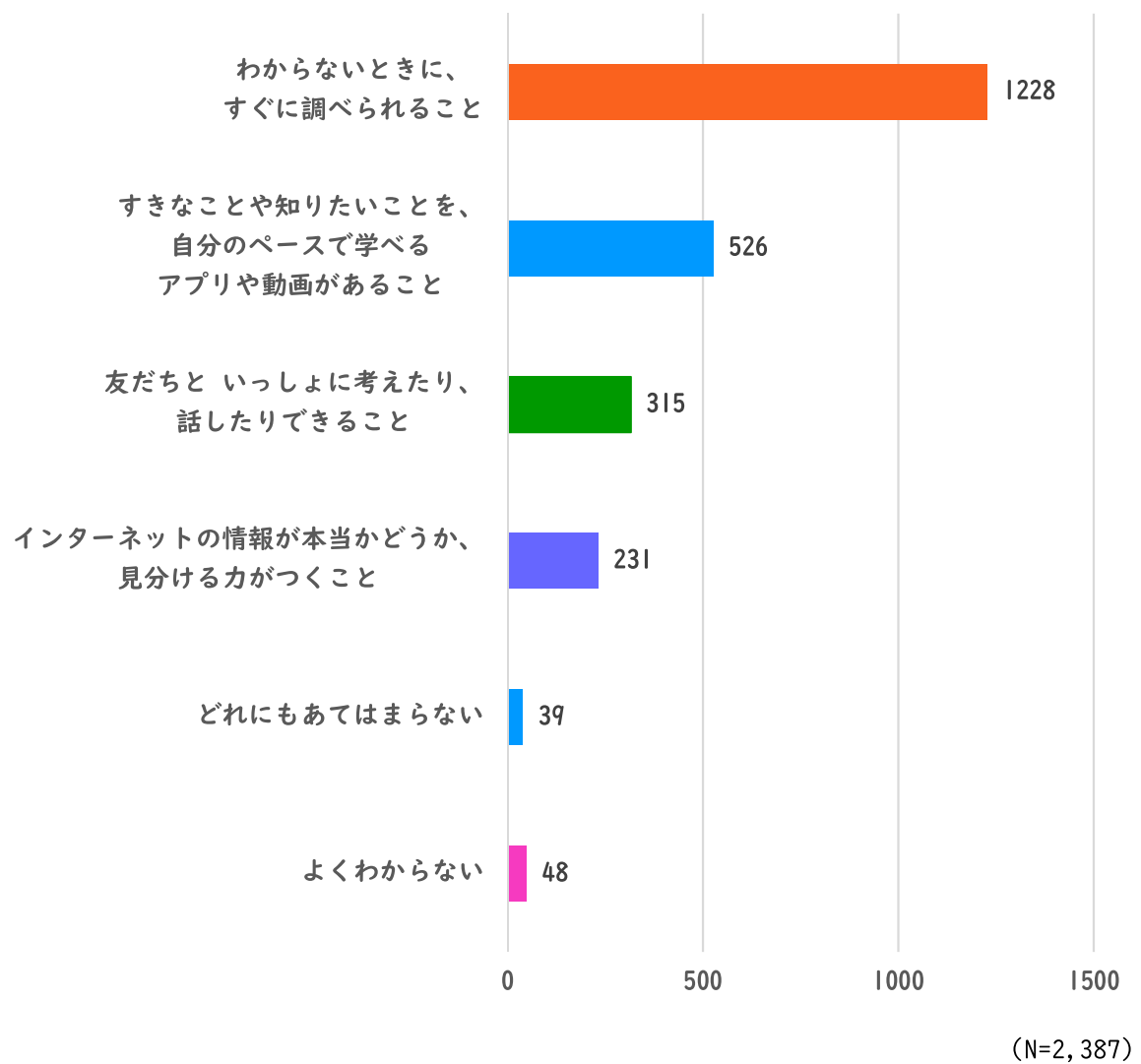
「友だちと仲よく過ごせること」(46%)が最多で、次いで、「先生や友だちが優しく話を聞いてくれること」(18%)、「自分の気持ちや考えを安心して言えること」(17%)となっています。

思春期特有の自己意識の高まりの中で、友達などとの人間関係や信頼関係、自分らしさが受容される環境(心理的安全性)を強く求めていることが分かります。



Q4 タブレットやインターネットを使(つか)うときに、どんなことができる
いいと思(おも)いますか？

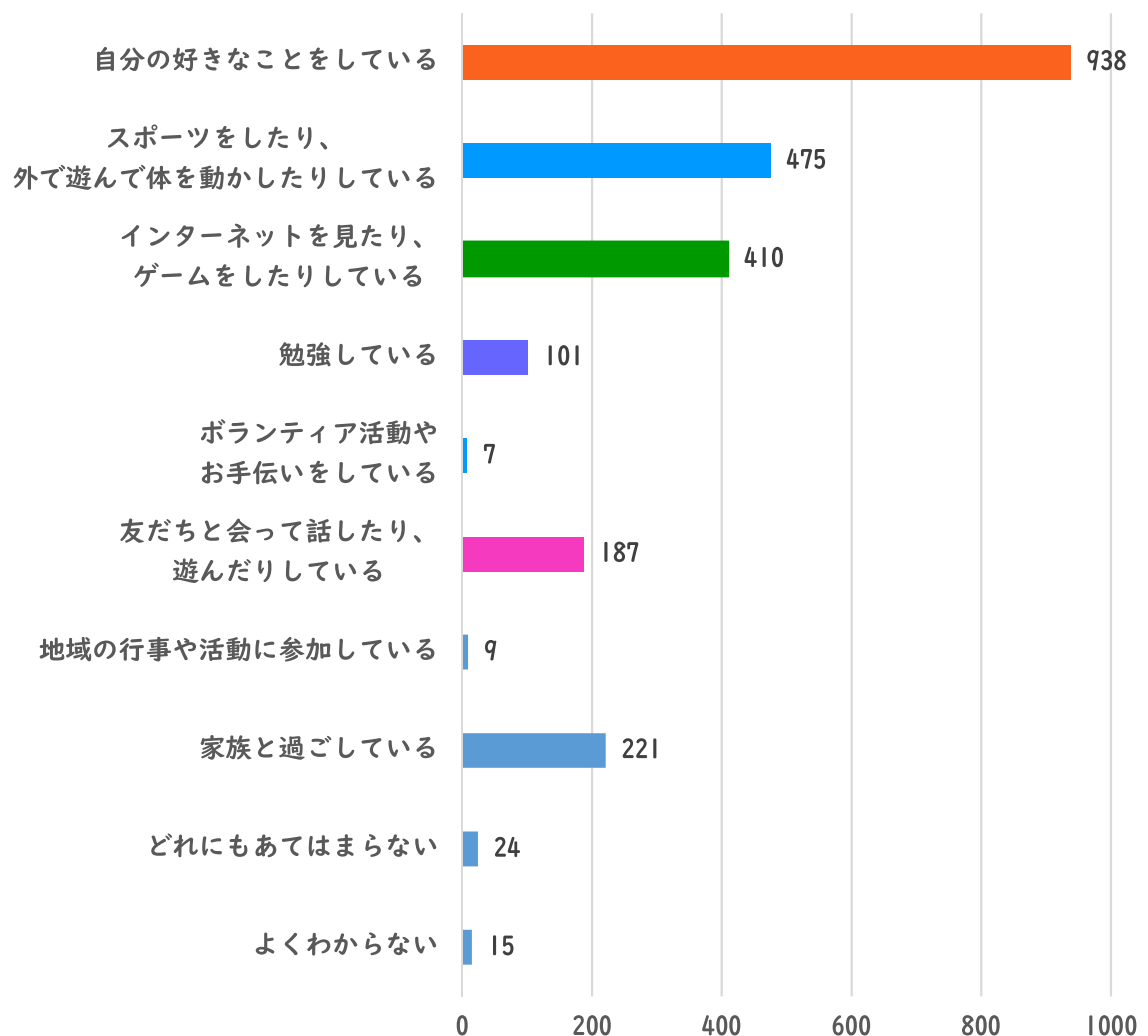
「わからないときに、すぐに調べられること」(51%)が過半数を占めており、タブレットやインターネットについて「知識探求ツール」としての価値を見いだしていることがうかがえます。



Q5 学校(がっこう)が休(やす)みの日(ひ)には、何(なに)をして過(す)ごしていることが多(おお)いですか？

「自分の好きなことをしている」(39%)、「スポーツをしたり、外で遊んで体を動かしたりしている」(20%)、「インターネットを見たり、ゲームをしたりしている」(17%)の順となっており、自分の興味や関心に基づく主体的な活動に休日の時間を使っていることがうかがえます。

なお、アウトドア及びインドアの両方の活動がみられます。



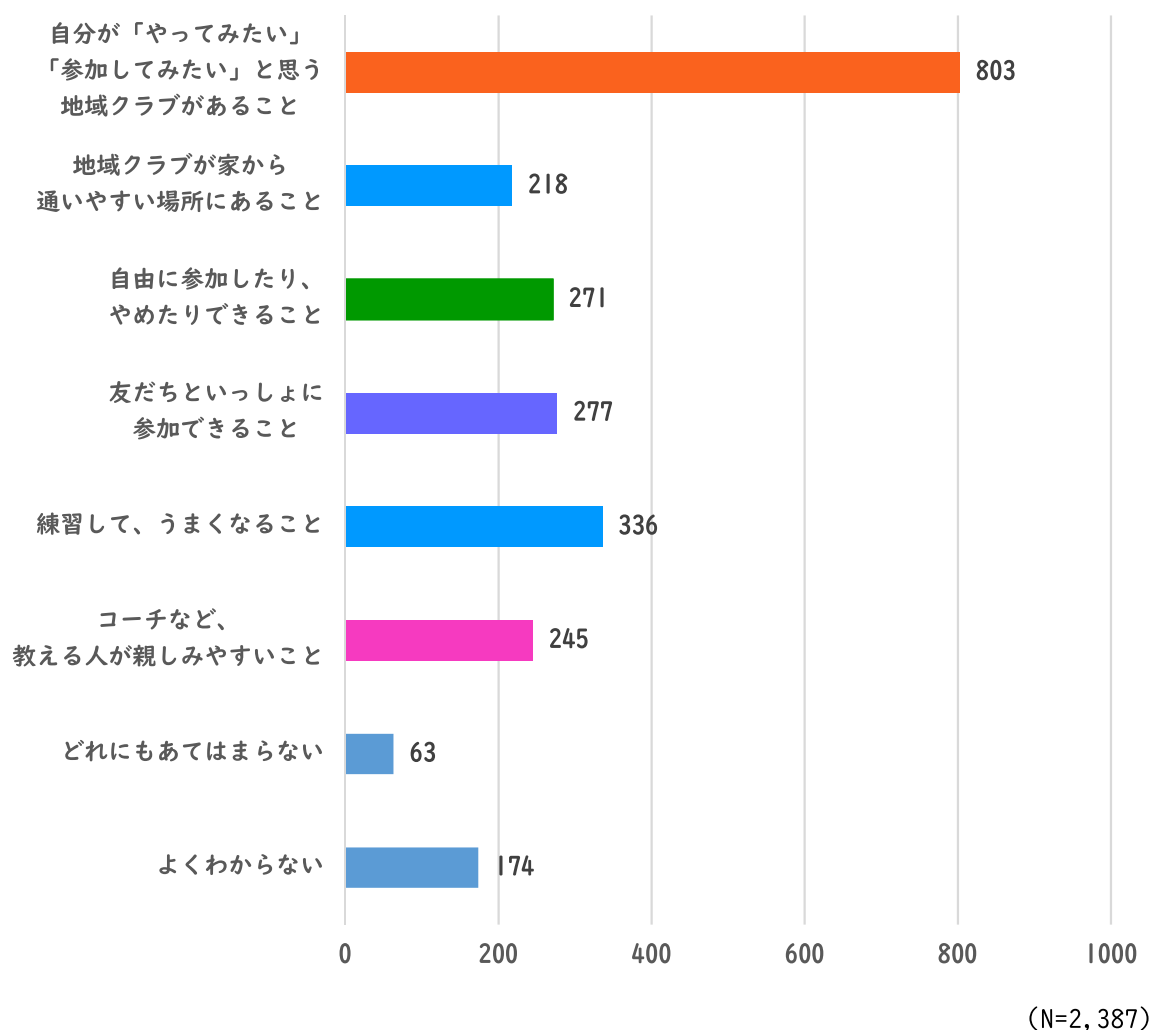
(N=2,387)

Q6 令和(れいわ)10年(ねん)1月(がつ)からは、中学校(ちゅうがっこう)の部活動(ぶかつどう)(運動部(うんどうぶ)や文化部(ぶんかぶ))がなくなり、みなさんが住(す)むそれぞれの地域(ちいき)でのクラブ活動(かつどう)となります。

地域(ちいき)でのクラブ活動(かつどう)に参加(さんか)するときに、大切(たいせつ)だと思(おも)うことは何(なん)ですか？

「自分が『やってみたい』『参加してみたい』と思う地域クラブがあること」が34%と最多で、地域クラブの活動内容(選択肢の多様性)を最重要視していることが分かります。

子どもたちが文化・スポーツ活動に親しみ、子どもたちのニーズに合った活動ができるよう、地域クラブの数を確保していくことが求められています。

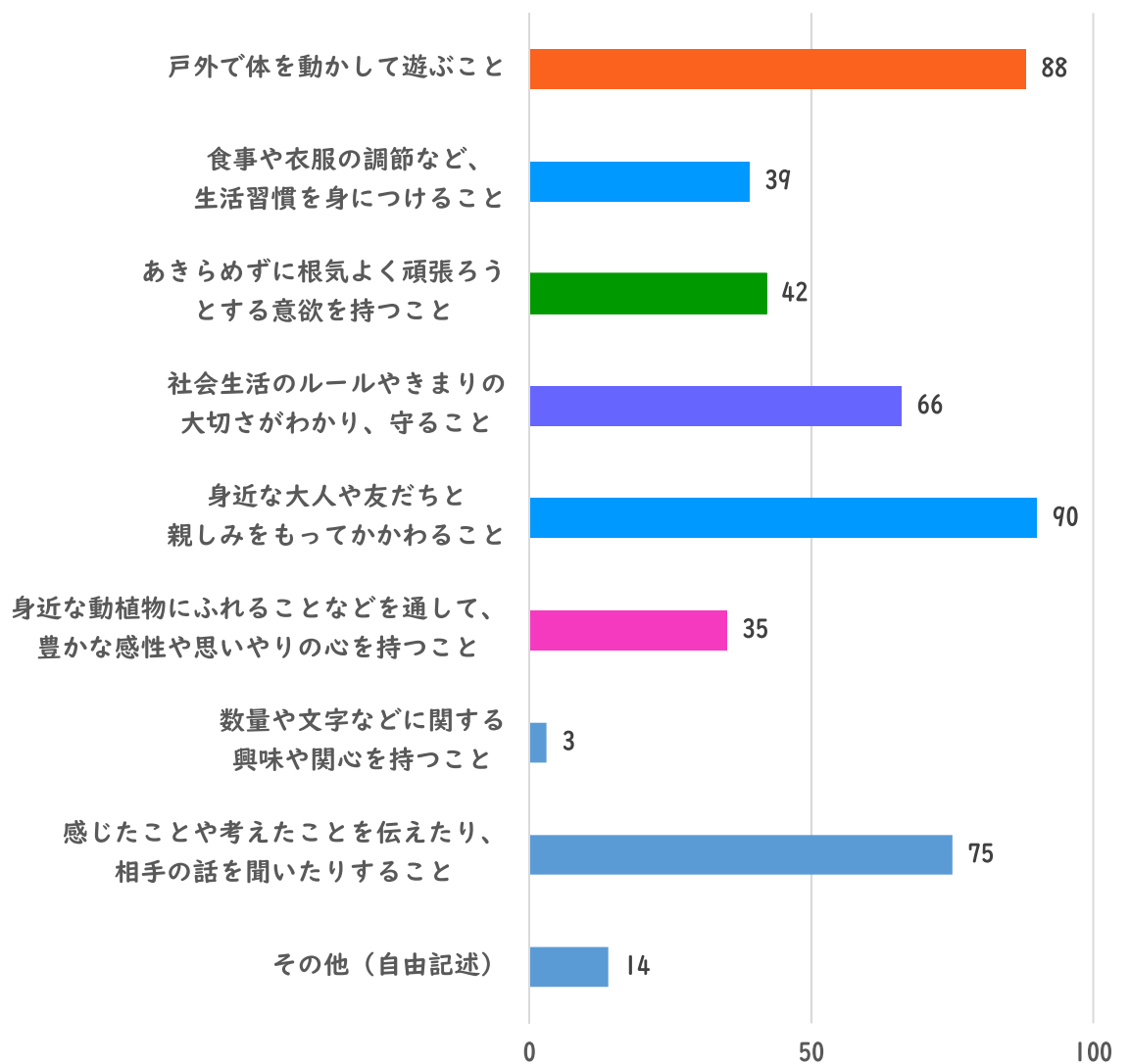


7 就学前児童の保護者の意見聴取（9問）の結果

Q1 就学前の子どもの学びで、大切だと思うことは何ですか？

「身近な大人や友だちと親しみをもってかかわること」「戸外で体を動かして遊ぶこと」がそれぞれ約2割となっており、知識や技能の習得を挙げた回答の割合を上回っています。

非認知能力やコミュニケーション能力、社会性について重要と考える意見が多くなっています。



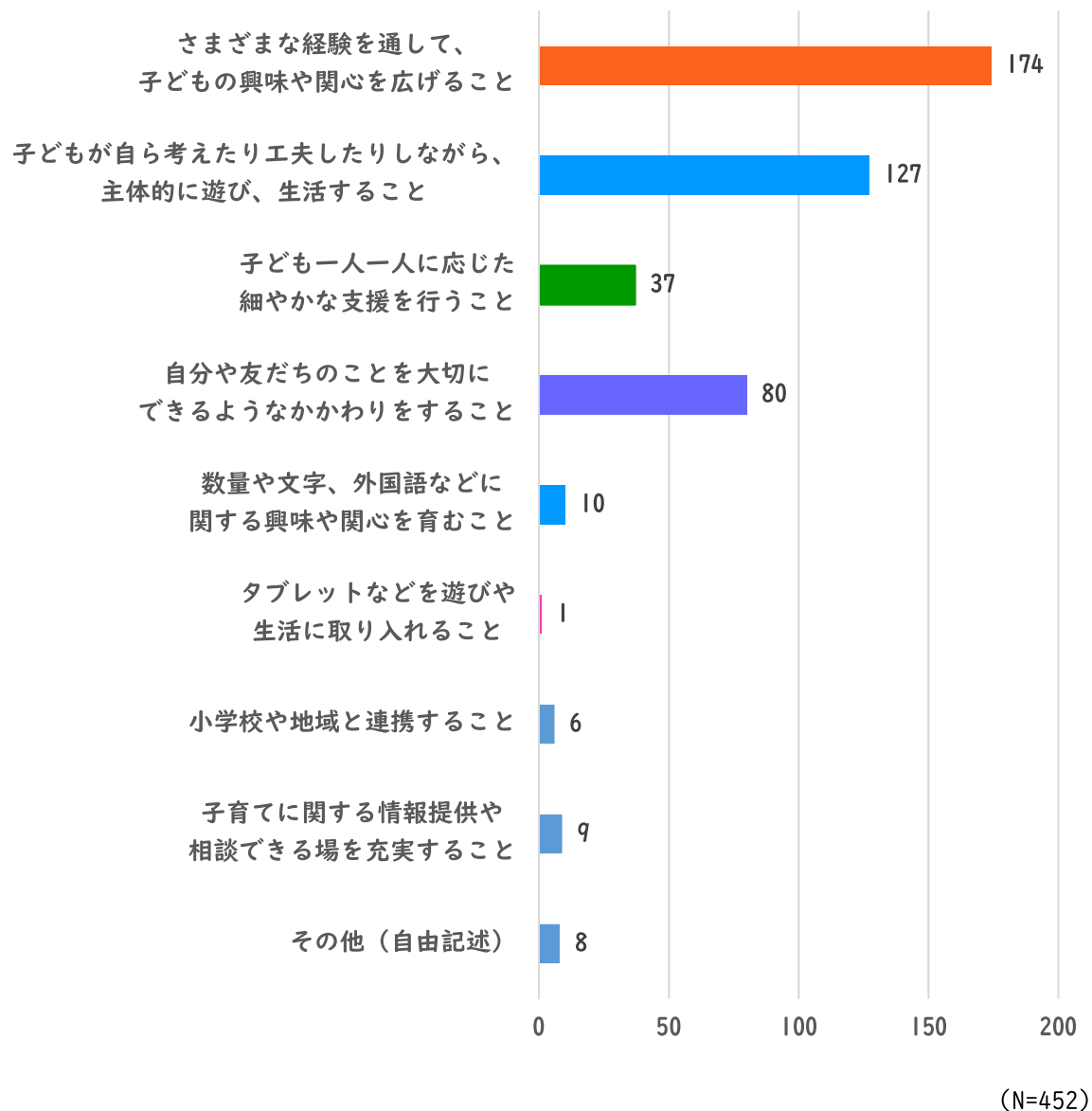
(N=452)

Q2 これからの就学前の教育・保育について、さらに充実を図ってほしいことは何ですか？

「さまざまな経験を通して、子どもの興味や関心を広げること」が約４割を占め、好奇心や探求心を育む体験を重視していることがうかがえます。

五感を通した直接体験や遊びを通して、「学びの芽」を育む環境づくりが求められています。

一方、「小学校や地域と連携すること」の割合は少ないものの、幼保小の連携推進には、家庭や地域の理解・協力が必要です。

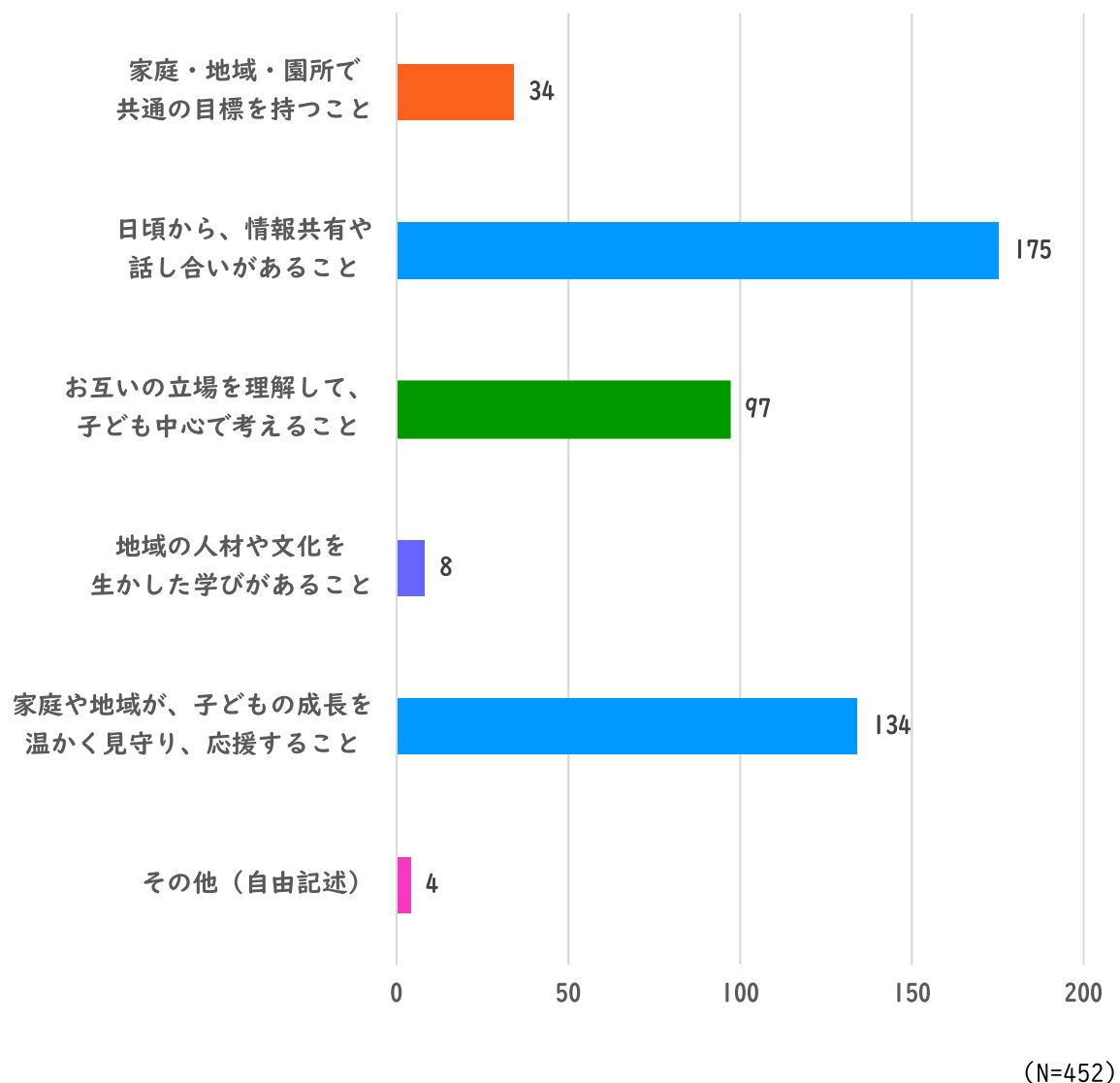


Q3 家庭や地域と園所が協力して子どもを育てるために、大切だと思うことは何ですか？

「日頃から、情報共有や話し合いがあること」が約4割を占め、最も多い回答となりました。

家庭は愛情やしつけなど心身の基盤づくり、地域は人との交流や自然体験など学びを豊かにする役割を担っています。

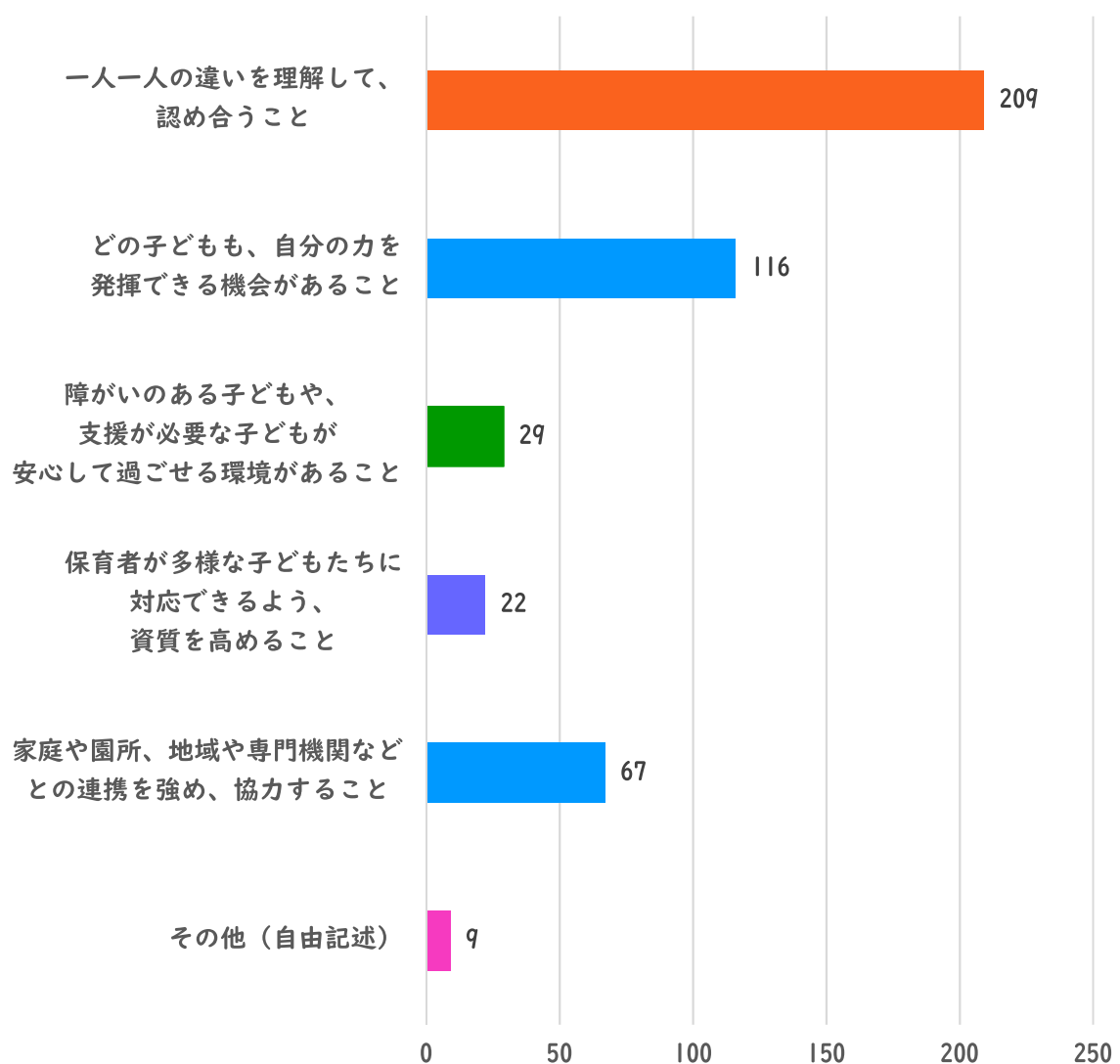
園所と家庭、地域が子ども中心に話し合い、互いの取組や理念を共有しながら連携していくことの重要性がうかがえます。



Q4 園所の教育・保育活動において、多様な子どもたちを支えるために、必要だと思うことは何ですか？

「一人一人の違いを理解して、認め合うこと」が約半数を占め、子どもへの細やかな支援や相互理解を重視する傾向が強く示されています。

多様な保育ニーズや発達段階に応じた支援は、自己肯定感や人権意識の芽生えにつながるものがうかがえます。

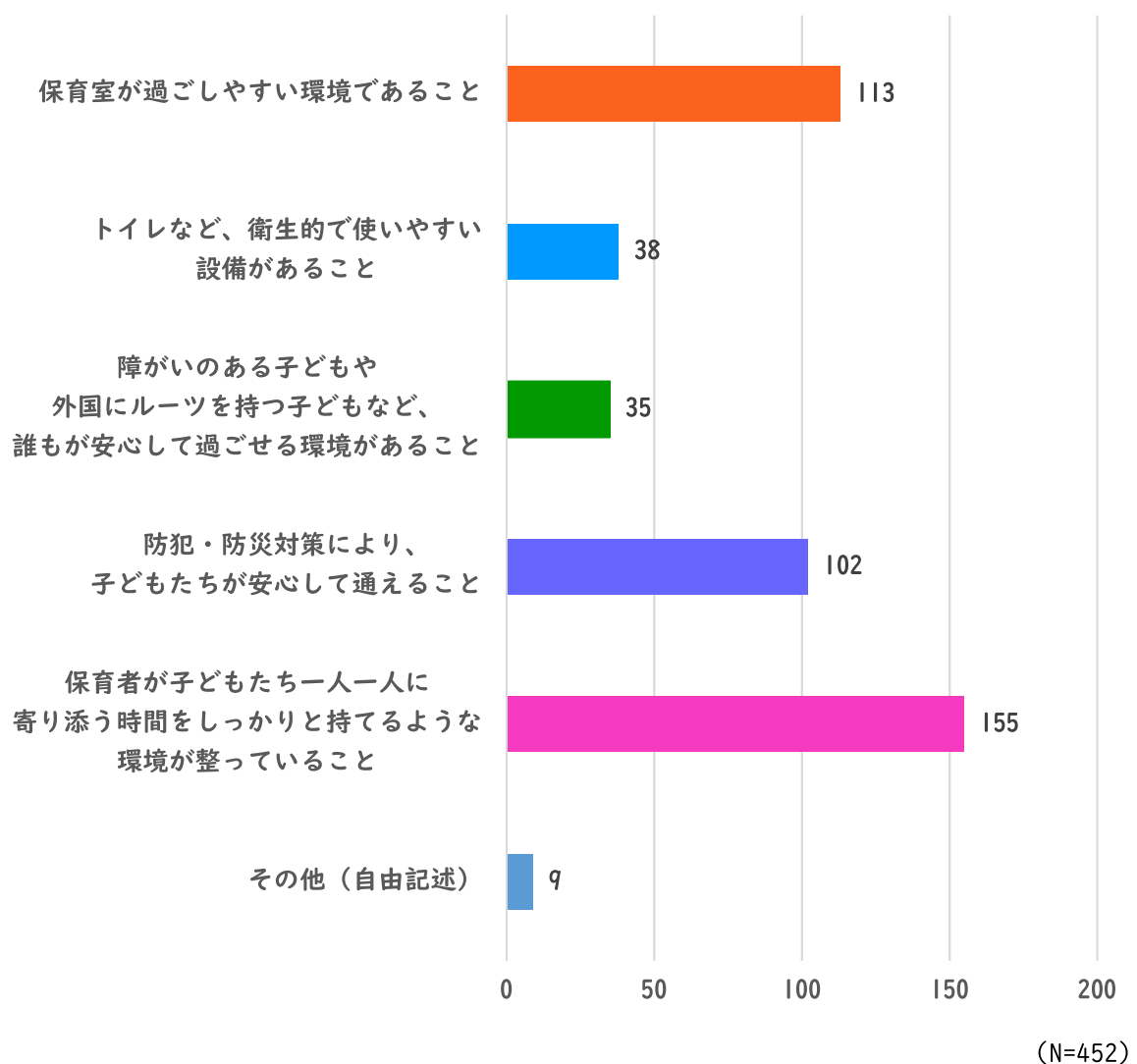


(N=452)

Q5 園所の環境整備について、大切だと思うことは何ですか？

「保育者が子どもたち一人一人に寄り添う時間をしっかりと持てるような環境が整っていること」が34%を占めており、ゆとりある人的配置や業務分担の見直しによる保育者の働きやすい職場環境の整備は、保育の質の向上にもつながることがうかがえます。

乳幼児教育は遊びを通した「環境による保育」により行われることから、安心・安全で豊かな遊びが展開できる環境づくりが求められます。

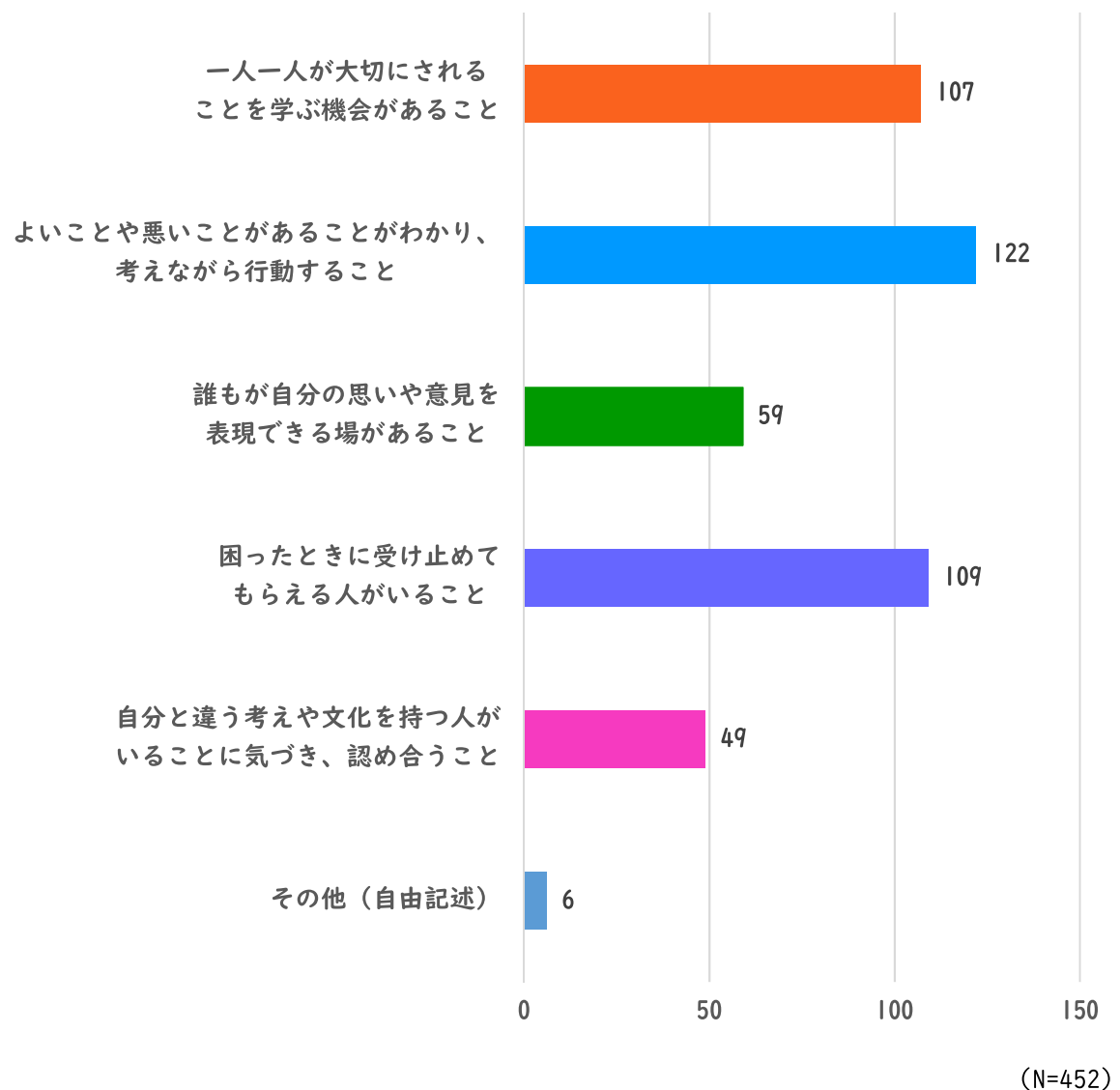


Q6 園所の教育・保育活動において、一人一人の人権を大切にするために、必要だと思うことは何ですか？

「よいことや悪いことがあることがわかり、考えながら行動すること」が27%と最も多く、次いで、「困ったときに受け止めてもらえる人がいること」が24%となりました。

全ての子どもが愛され、守られていると感じ、年齢に応じて意見が表現され尊重されることは、人権を守る上で不可欠です。

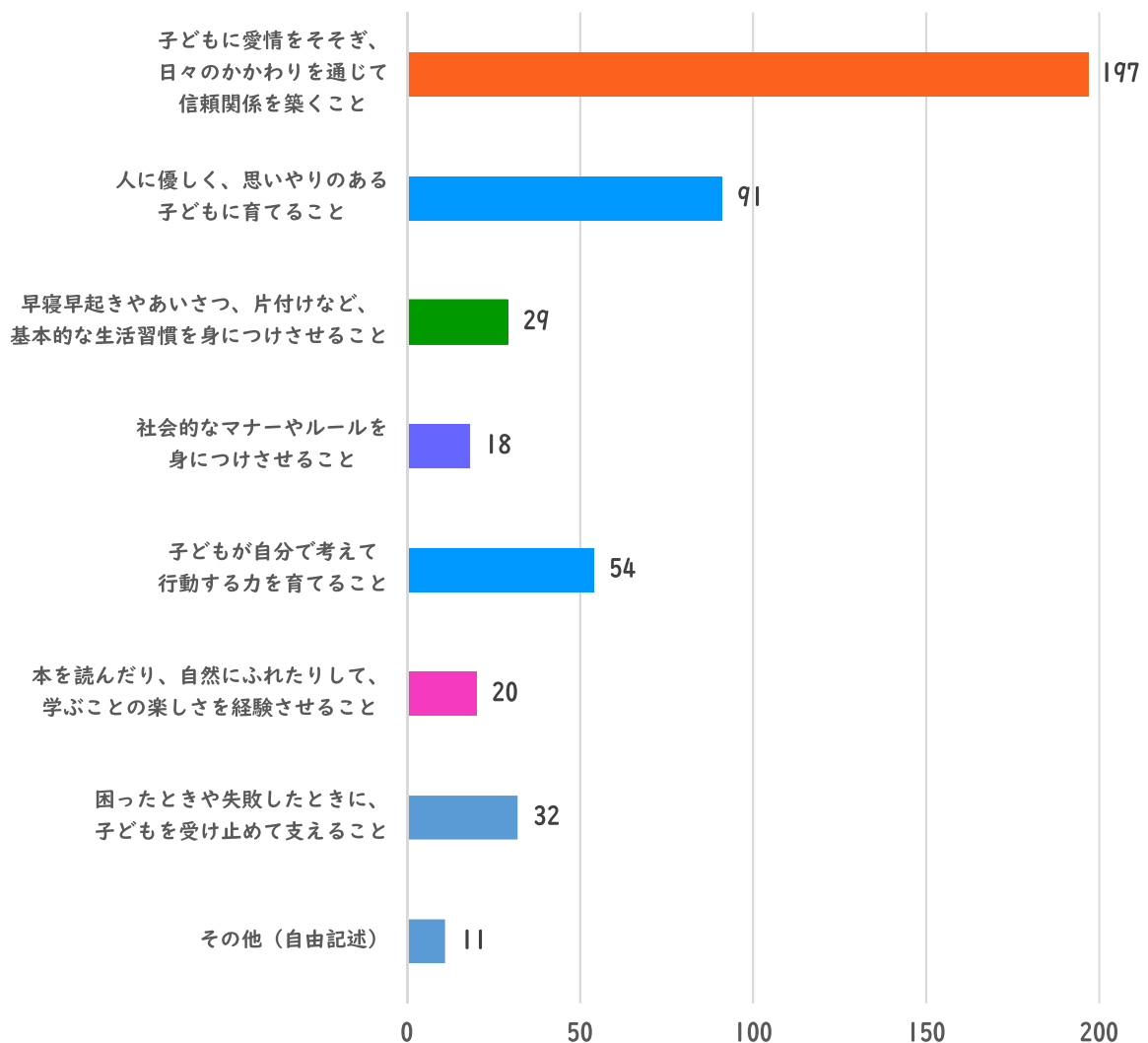
乳児期からの受容的な関わりや、主体的で対話的な保育を通じて“子どもの最善の利益”を実現するため、保育者の専門性向上が求められます。



Q7 あなたが家庭教育で大切にしていることは何ですか？

「子どもに愛情をそそぎ、日々のかかわりを通じて信頼関係を築くこと」が約4割を占めており、園所と家庭で子どものよさを共有し、親子の信頼関係づくりを支える取組が求められます。

一方、「子どもが自分で考えて行動する力を育てること」「困ったときや失敗したときに、子どもを受け止めて支えること」の回答は少ないものの、挑戦のためには安心できる基盤が不可欠であり、その重要性を家庭と共有していくことが必要です。

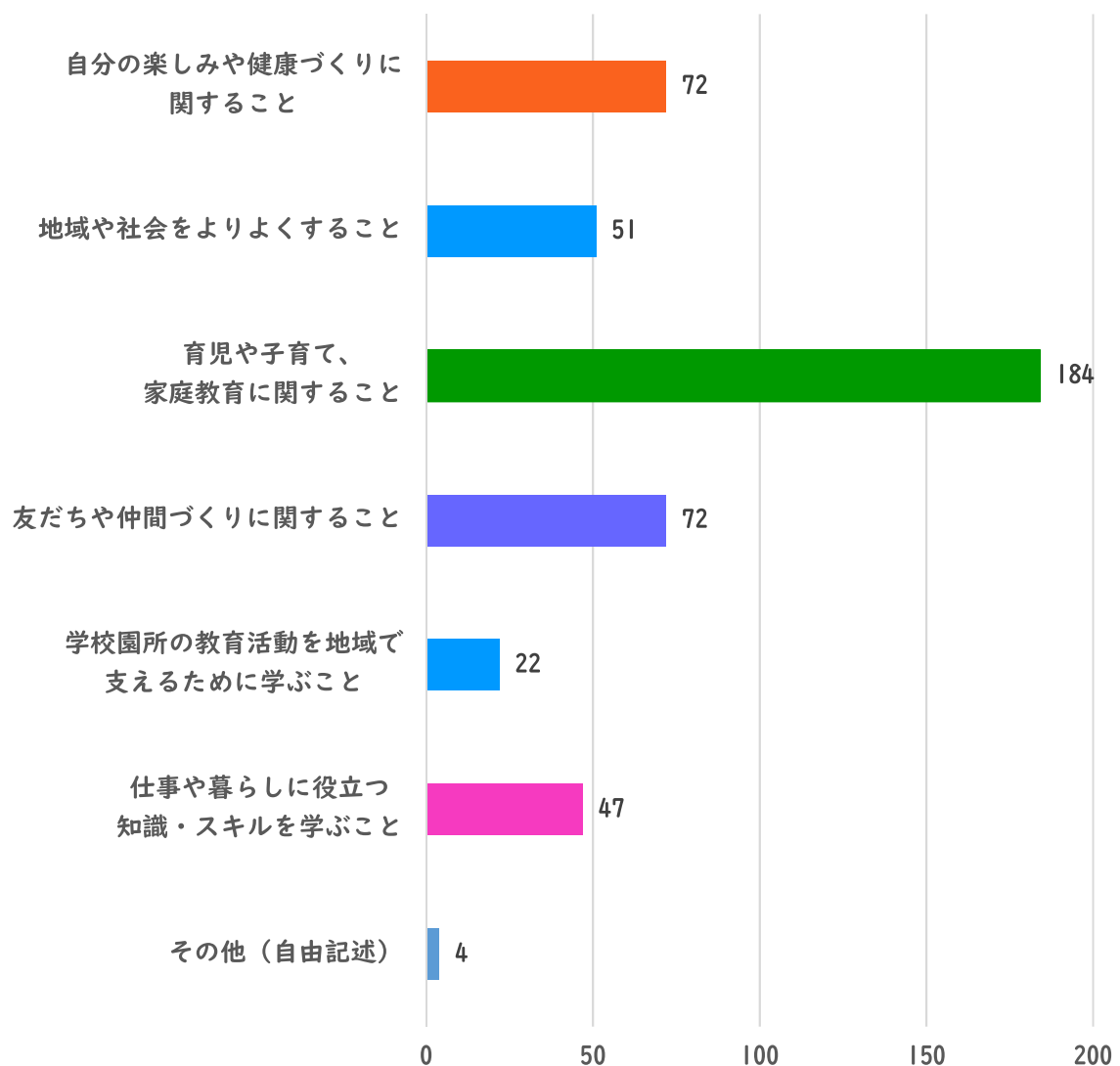


(N=452)

Q8 社会教育（地域での学び）について、どのような内容に関心がありますか？

「育児や子育て、家庭教育に関すること」が4割を占め、最も重視されていることが分かります。

就学前児童の保護者は、育児や子育てに関する内容への関心が高く、こうしたニーズに応える講座やイベントを企画・実施し、家庭教育力の向上を図ることが求められます。

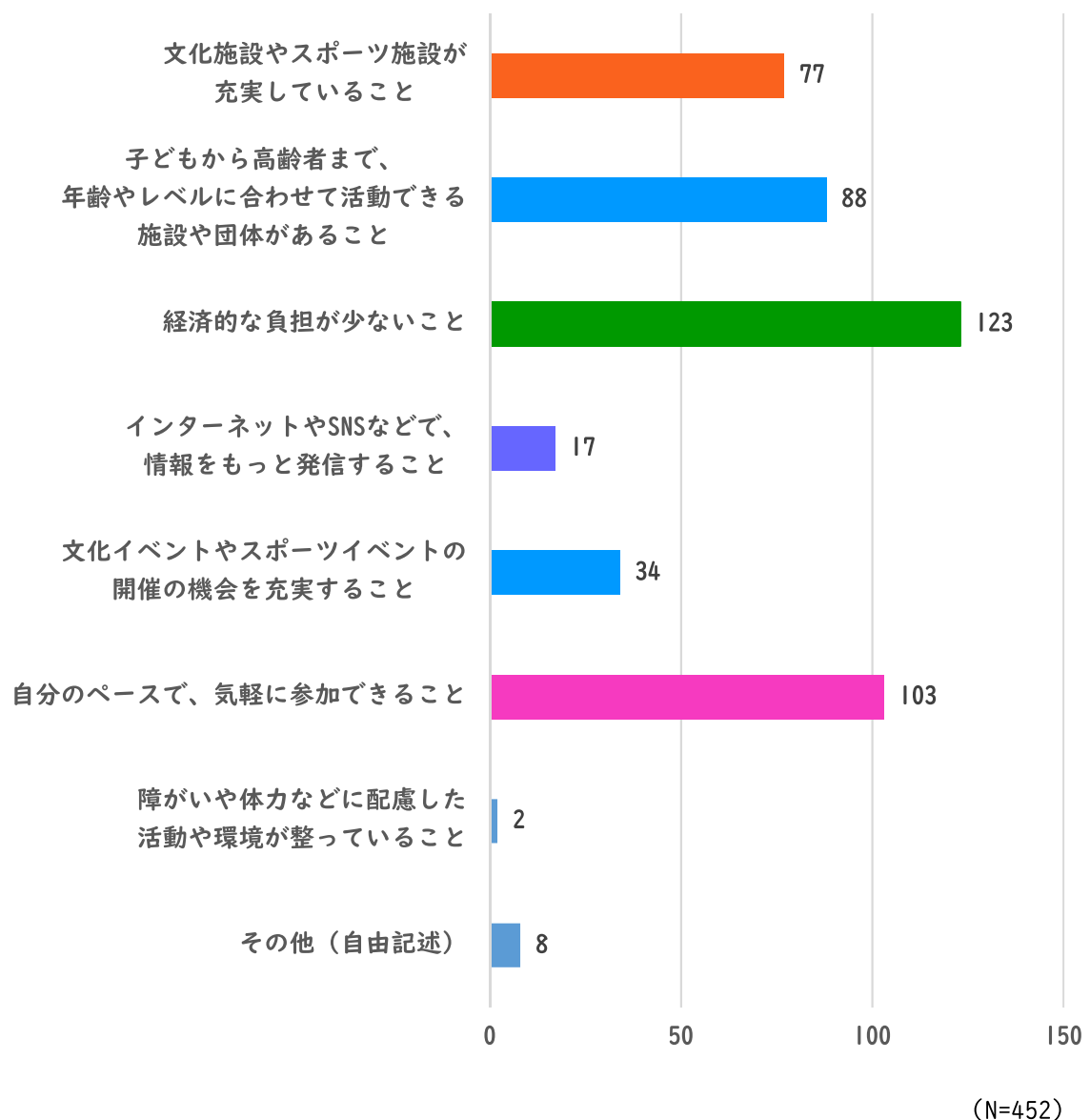


(N=452)

Q9 市民が文化やスポーツにもっと親しむために、必要だと思うことは何ですか？

「経済的な負担が少ないこと」が27%、次いで、「自分のペースで、気軽に参加できること」が23%となっています。

市民が文化やスポーツに親しむためには、参加への心理的・金銭的ハードルを下げるのが重要で、多世代・多様なレベルに合わせたイベントの開催や、自由参加型など気軽に参加できる機会を充実させることが求められます。

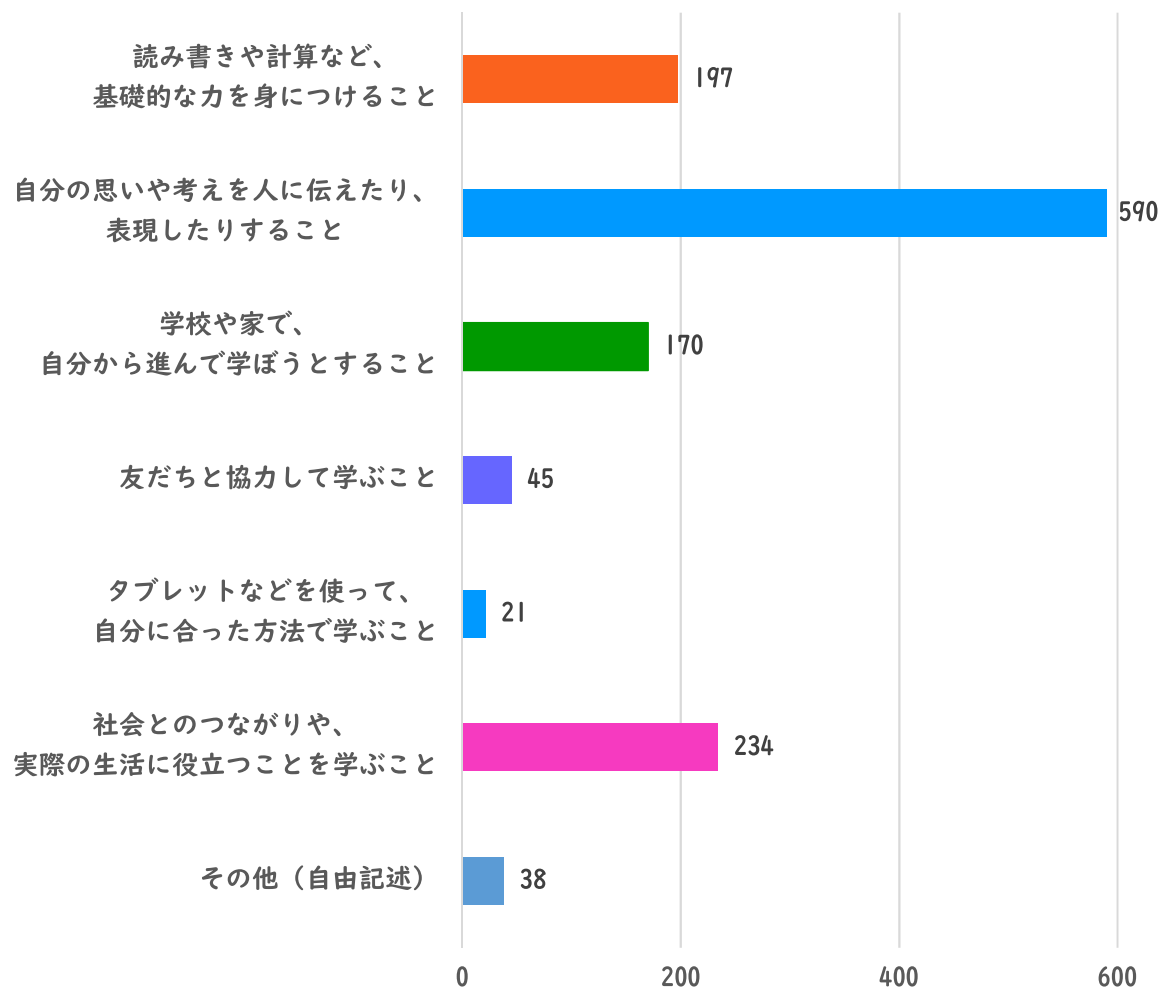


8 小・中学生の保護者の意見聴取（12問）の結果

Q1 子どもにとって、これからの学びで大切だと思うことは何ですか？

「自分の思いや考えを人に伝えたり、表現したりすること」が46%と、半数近くを占めています。

保護者にとって、これからの学びにおいては、知識の量よりも、それを活用する表現力や実践力を重要視していることがうかがえます。

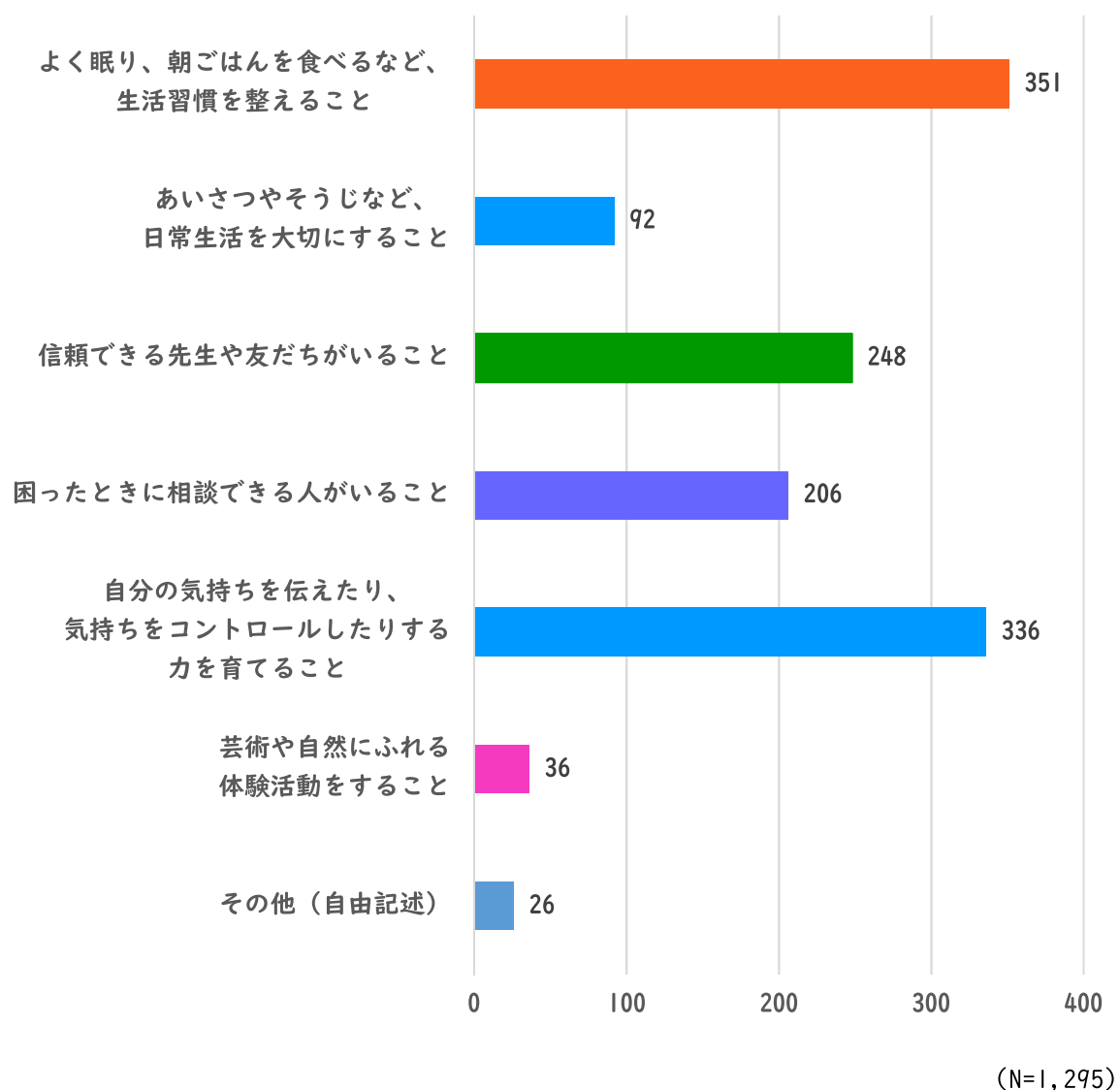


(N=1,295)

Q2 子どもが「心も体も元気に育つ」ために、大切だと思うことは何ですか？

「よく眠り、朝ごはんを食べるなど、生活習慣を整えること」及び「自分の気持ちを伝えたり、気持ちをコントロールしたりする力を育てること」がそれぞれ約3割となっています。

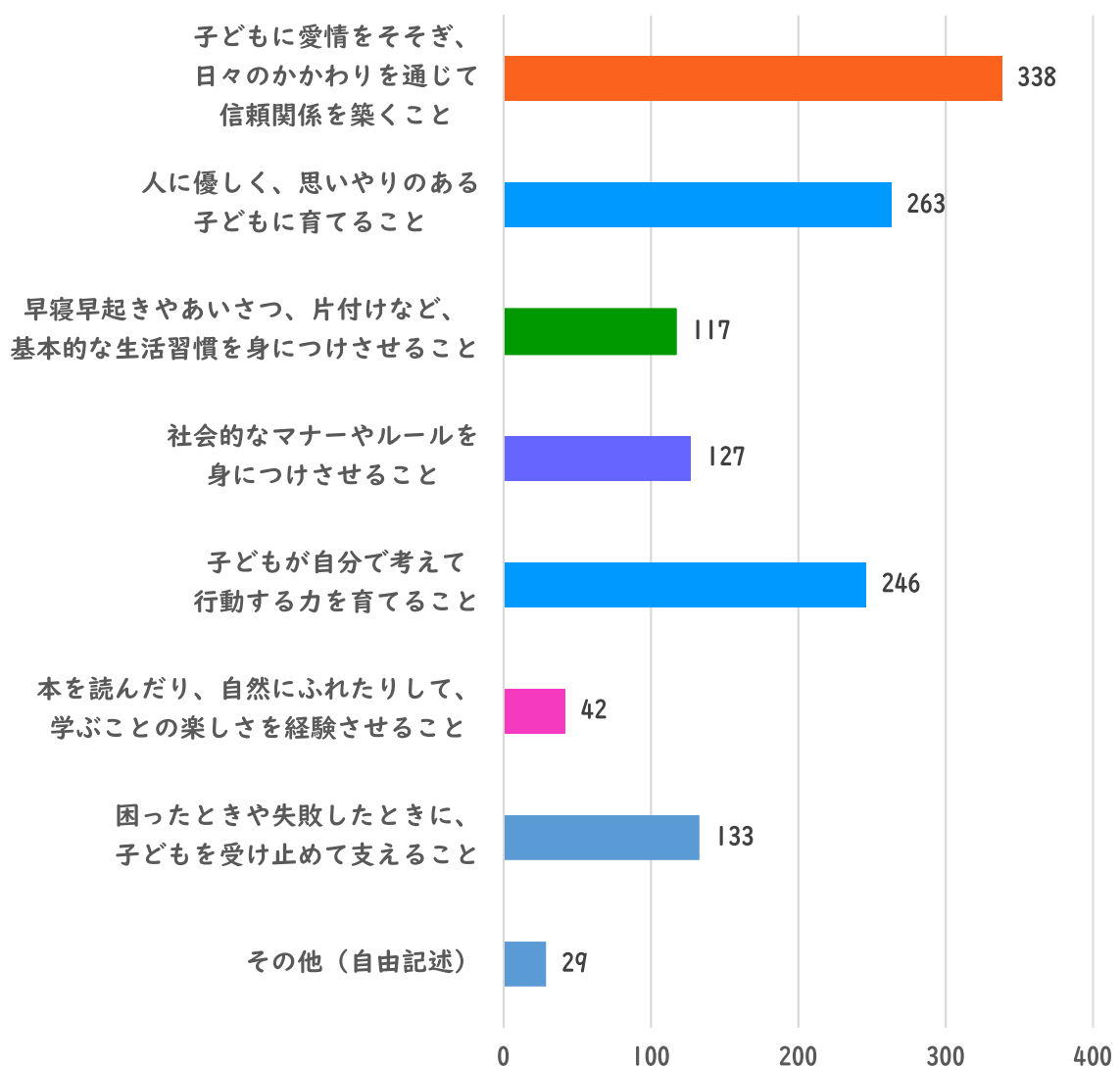
睡眠や食事などの生活習慣は心や気持ちの状態に影響するため、両者は密接な関係にあると考えられます。



Q3 あなたが家庭教育で大切にしていることは何ですか？

「子どもに愛情をそそぎ、日々のかかわりを通じて信頼関係を築くこと」が26%、次いで、「人に優しく、思いやりのある子どもに育てること」が20%となっています。

家庭においては、社会性の土台ともなる人との信頼関係の構築を重要視していることがうかがえます。

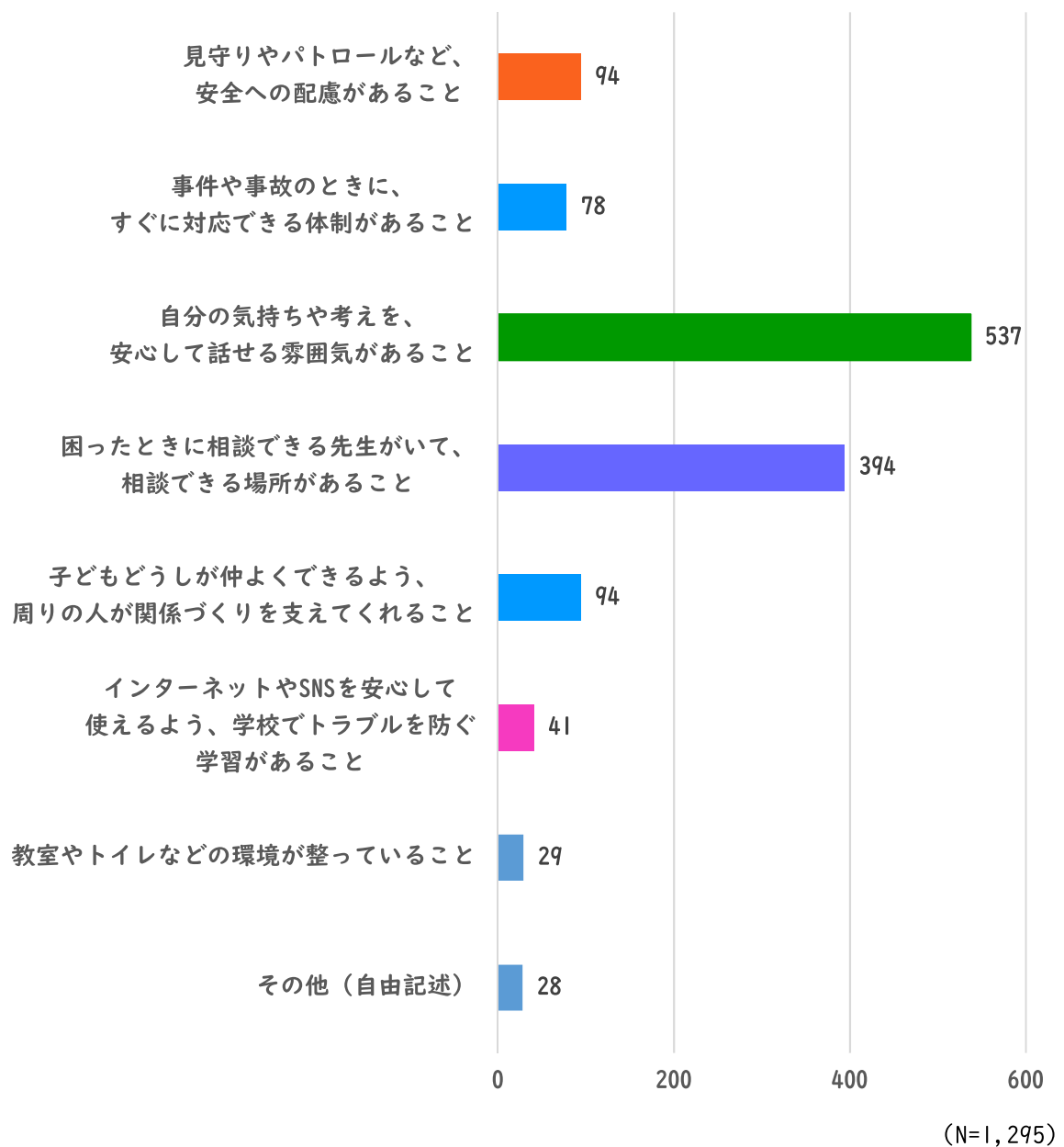


(N=1,295)

Q4 学校で子どもが安心して過ごすために、必要だと思うことは何ですか？

「自分の気持ちや考えを、安心して話せる雰囲気があること」が41%、次いで、「困ったときに相談できる先生がいて、相談できる場所があること」が30%と、合わせて7割を占めています。

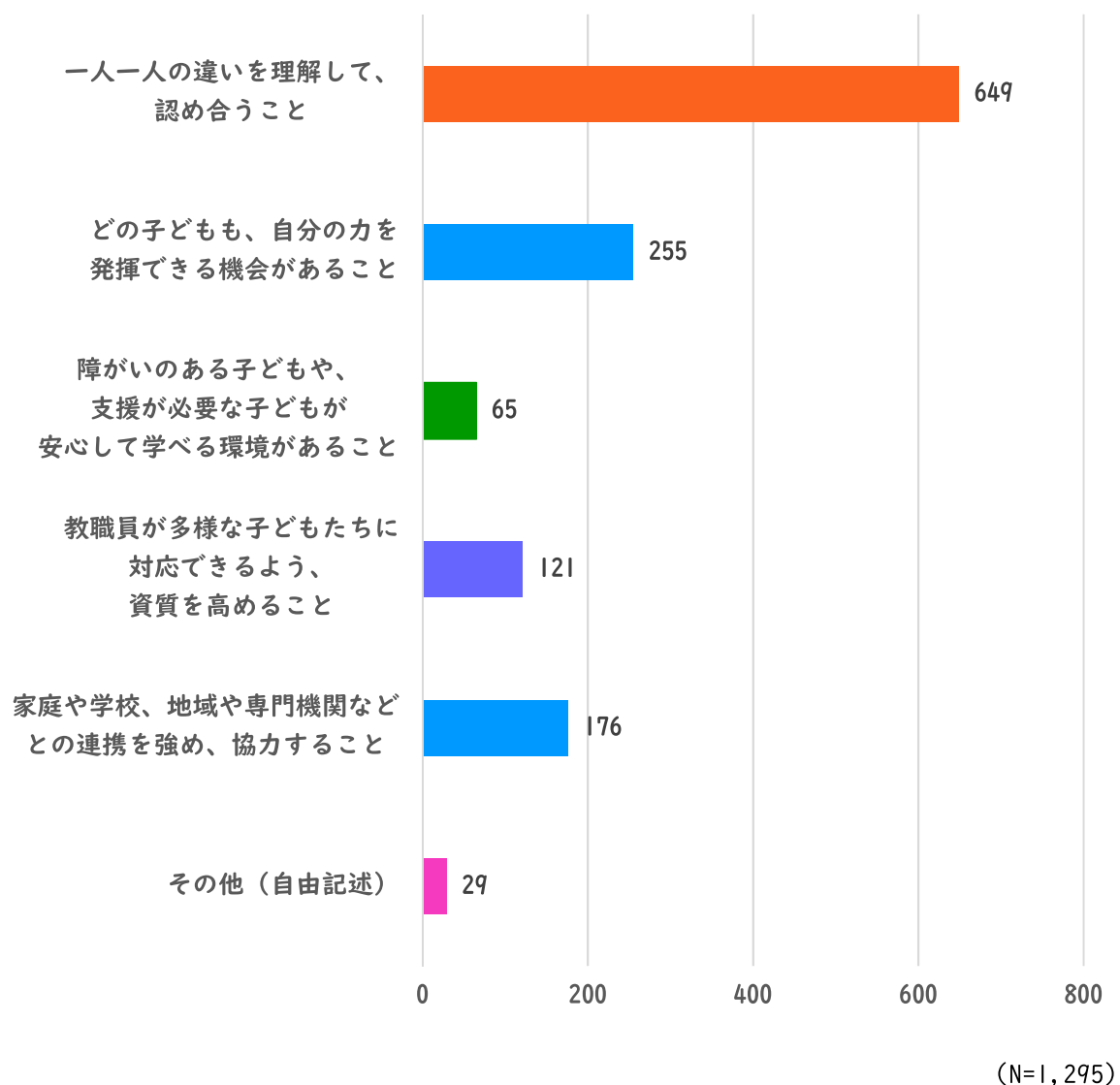
安心して自分を出せる心理的安全性のある学校環境づくりが求められています。



Q5 多様な子どもたちを支えるために、必要だと思うことは何ですか？

「一人一人の違いを理解して、認め合うこと」が5割と、半数を占めており、多様性の尊重を最重要視していることが分かります。

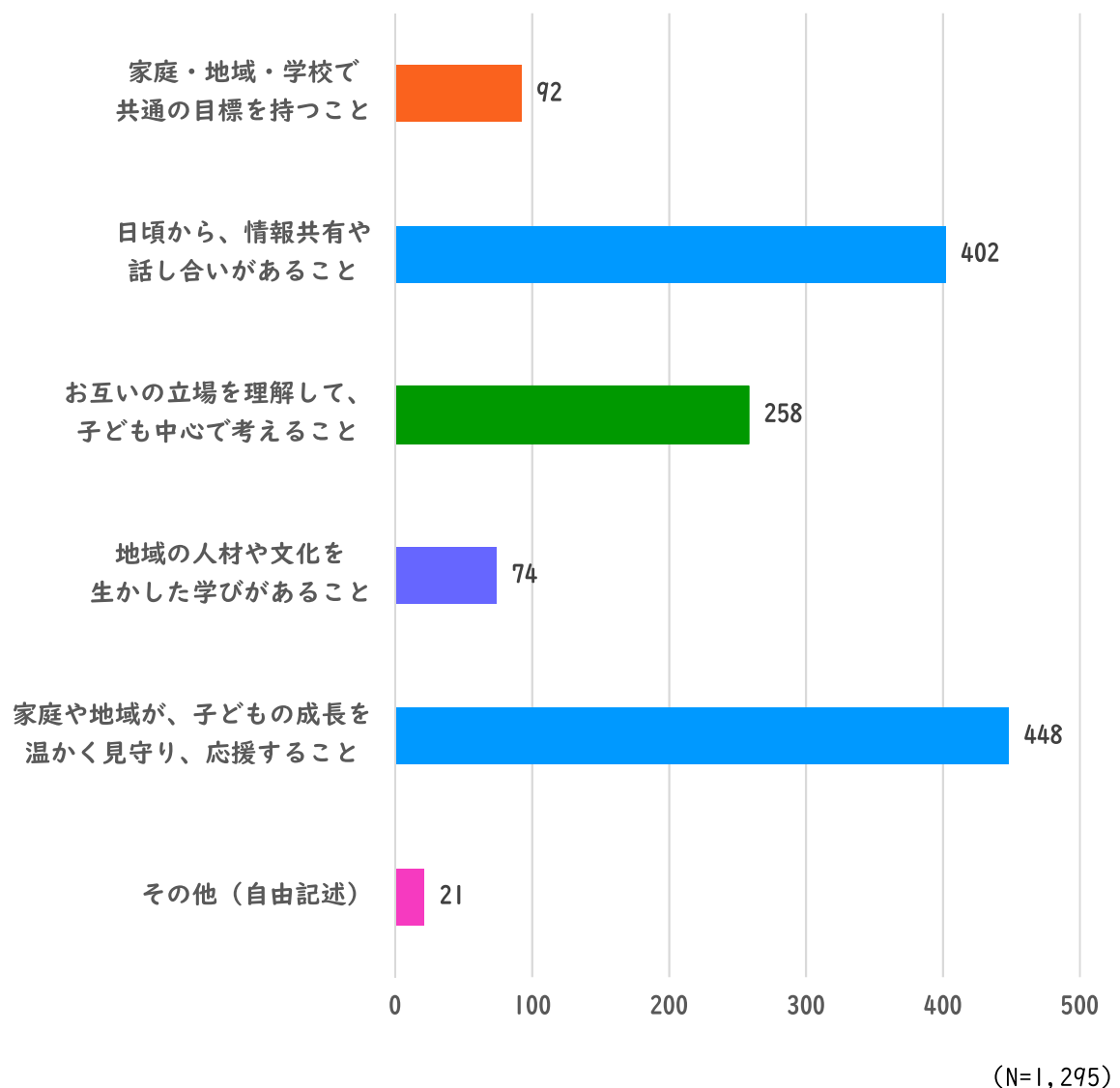
授業の中で多様性について取り扱ったり、異年齢交流を通じて視野を広げたりするほか、普段の学校生活の中でも自然に「違いを認め合う」風土を育てていく必要があります。



Q6 家庭や地域と学校が協力して子どもを育てるために、大切だと思うことは何ですか？

「家庭や地域が、子どもの成長を温かく見守り、応援すること」が35%、「日頃から、情報共有や話し合いがあること」が31%となっています。

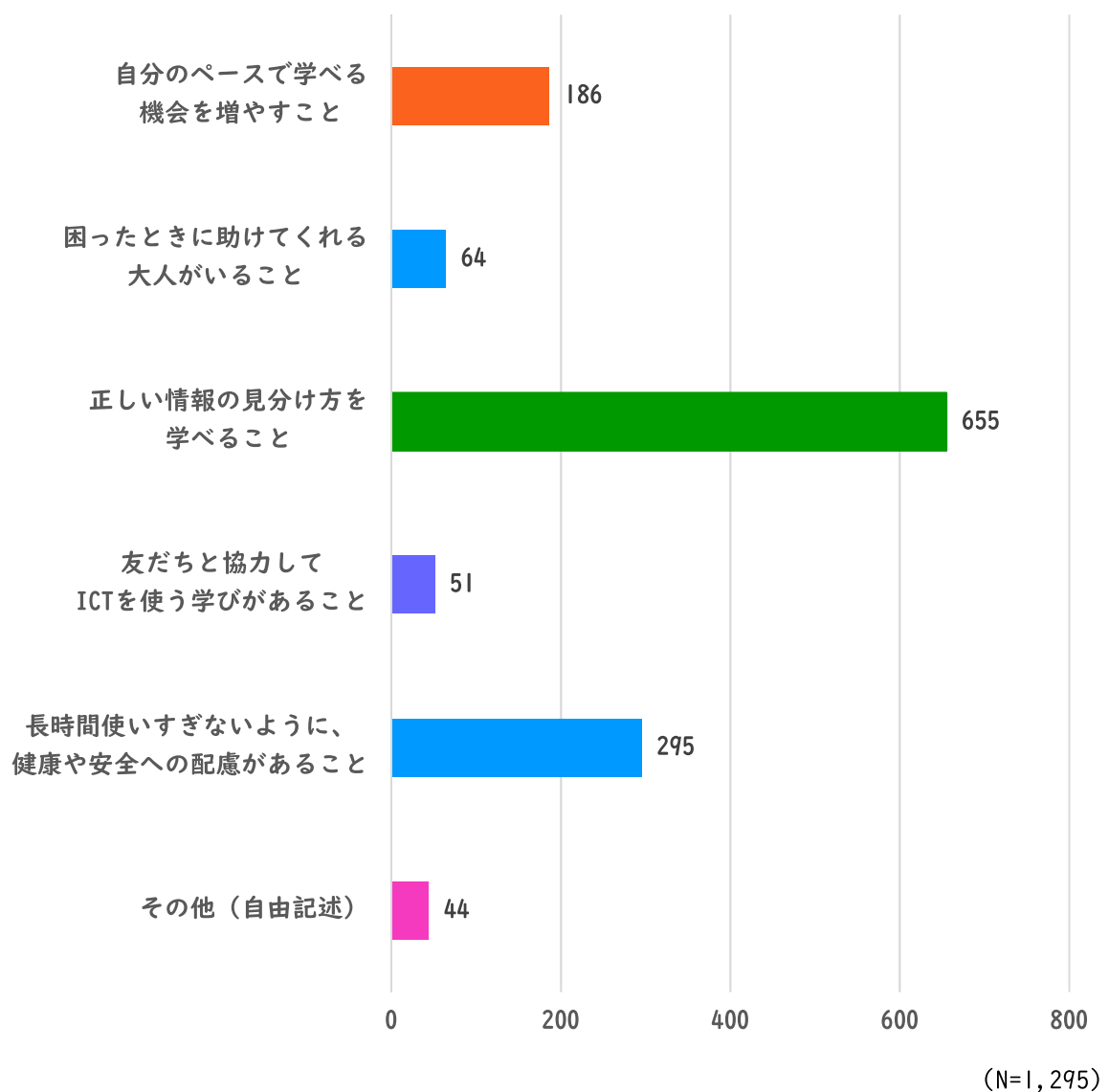
日頃から家庭、地域、学校がつながり合い、信頼関係を構築して子どもを支えていくことが求められています。



Q7 タブレットやパソコンを使った学びについて、大切だと思うことは何ですか？

「正しい情報の見分け方を学べること」が51%と、半数を占めており、情報モラル・リテラシー教育を最重要視していることが分かります。

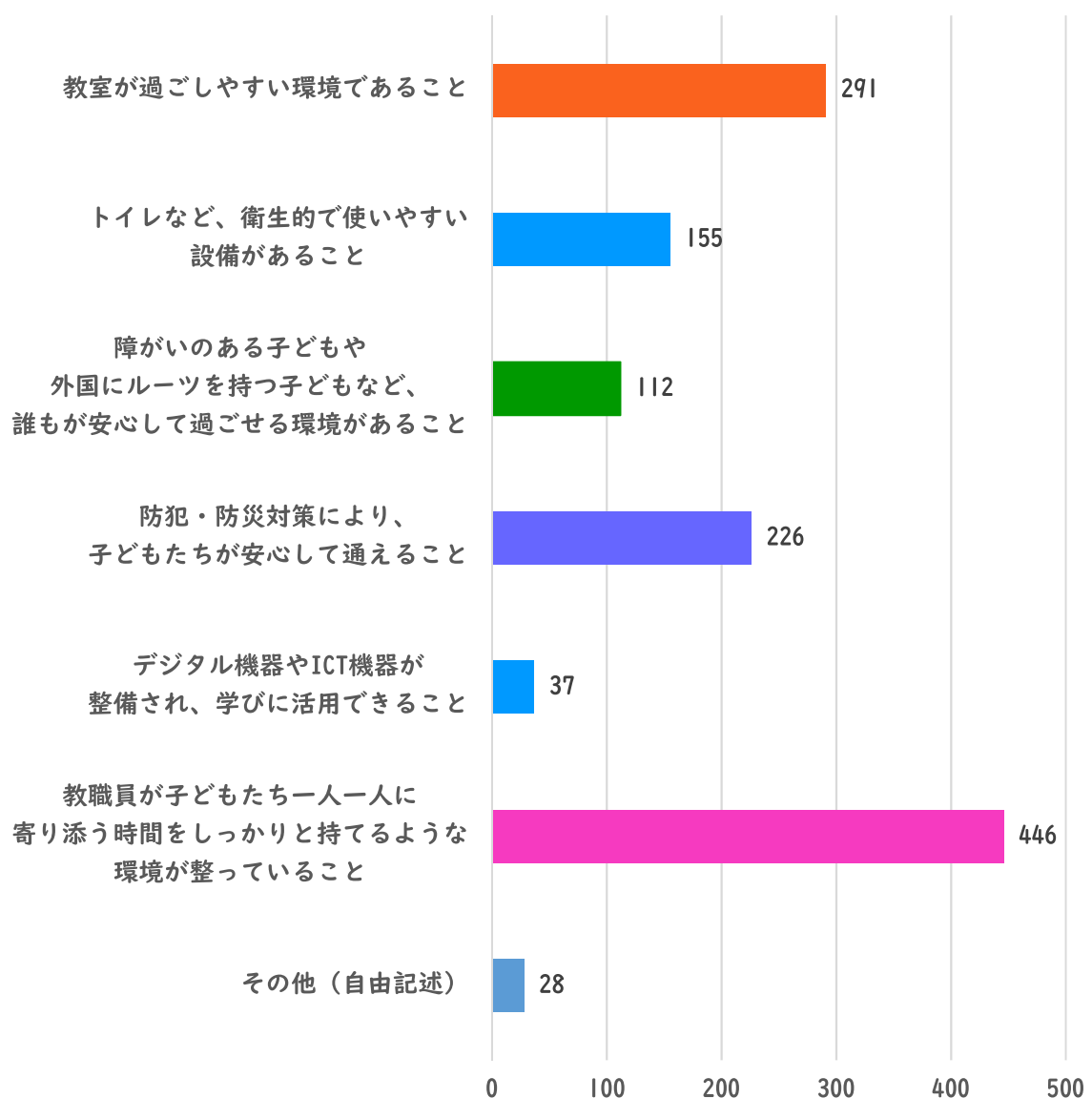
デジタル機器やインターネットをうまく使う力、自分で考えて行動する力、インターネット上でも責任ある行動を取る力など、デジタル・シティズンシップを育てていく必要があります。



Q8 学校の環境整備について、大切だと思うことは何ですか？

「教職員が子どもたち一人一人に寄り添う時間をしっかりと持てるような環境が整っていること」が34%と高く、就学前児童の保護者の回答と同じ傾向がみられました。

単なるハード面の整備ではなく、教職員がゆとりを持って子どもと関わることのできる環境整備が求められています。

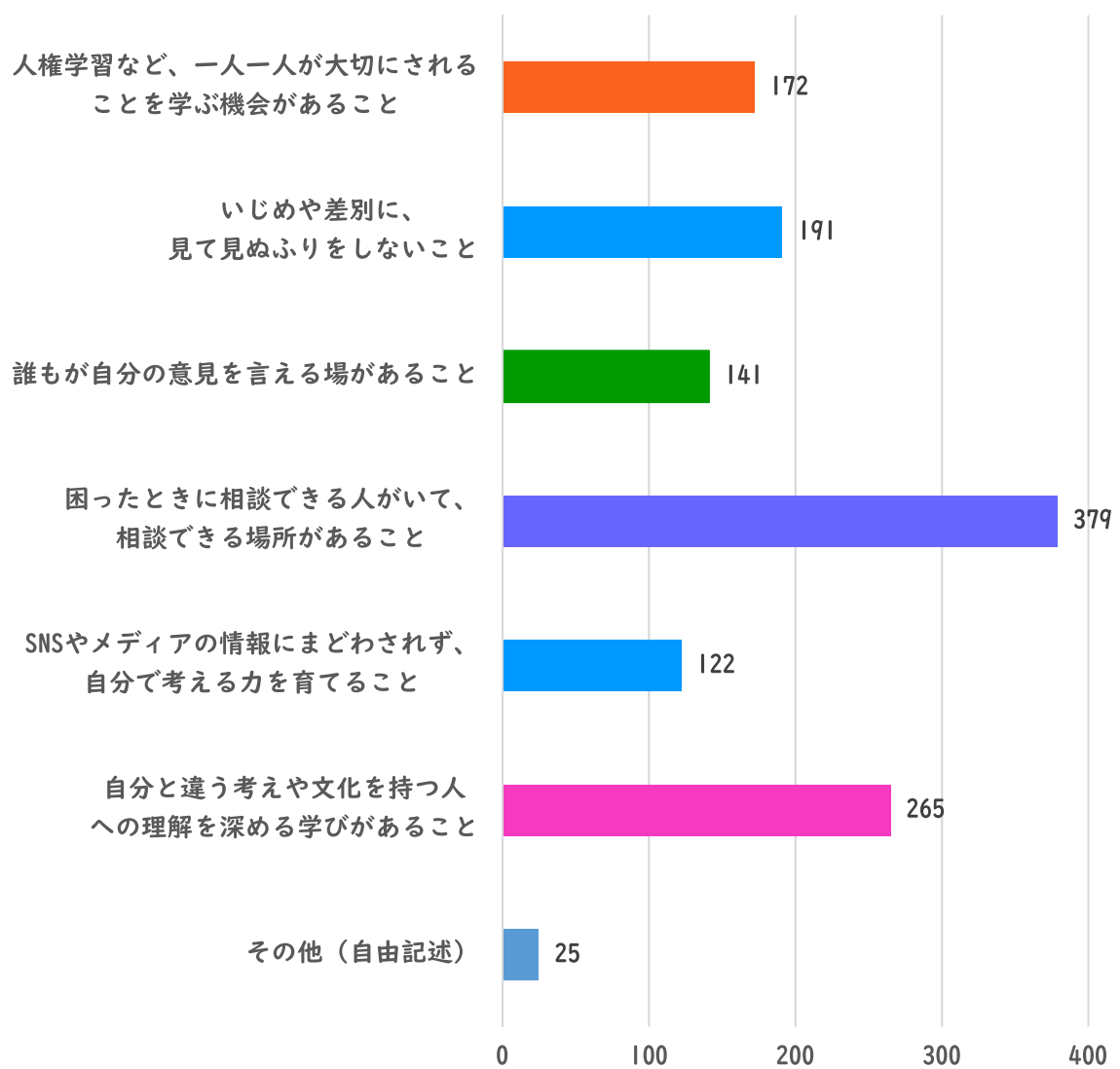


(N=1,295)

Q9 一人一人の人権を大切にするために、必要だと思うことは何ですか？

「困ったときに相談できる人がいて、相談できる場所があること」が29%、
「自分と違う考えや文化を持つ人への理解を深める学びがあること」が20%
と、合わせて約半数を占めています。

困ったときに助けを求められる心理的安全性及び自分と異なる他者を理解しようとする多様性の尊重を重要視していることがうかがえます。

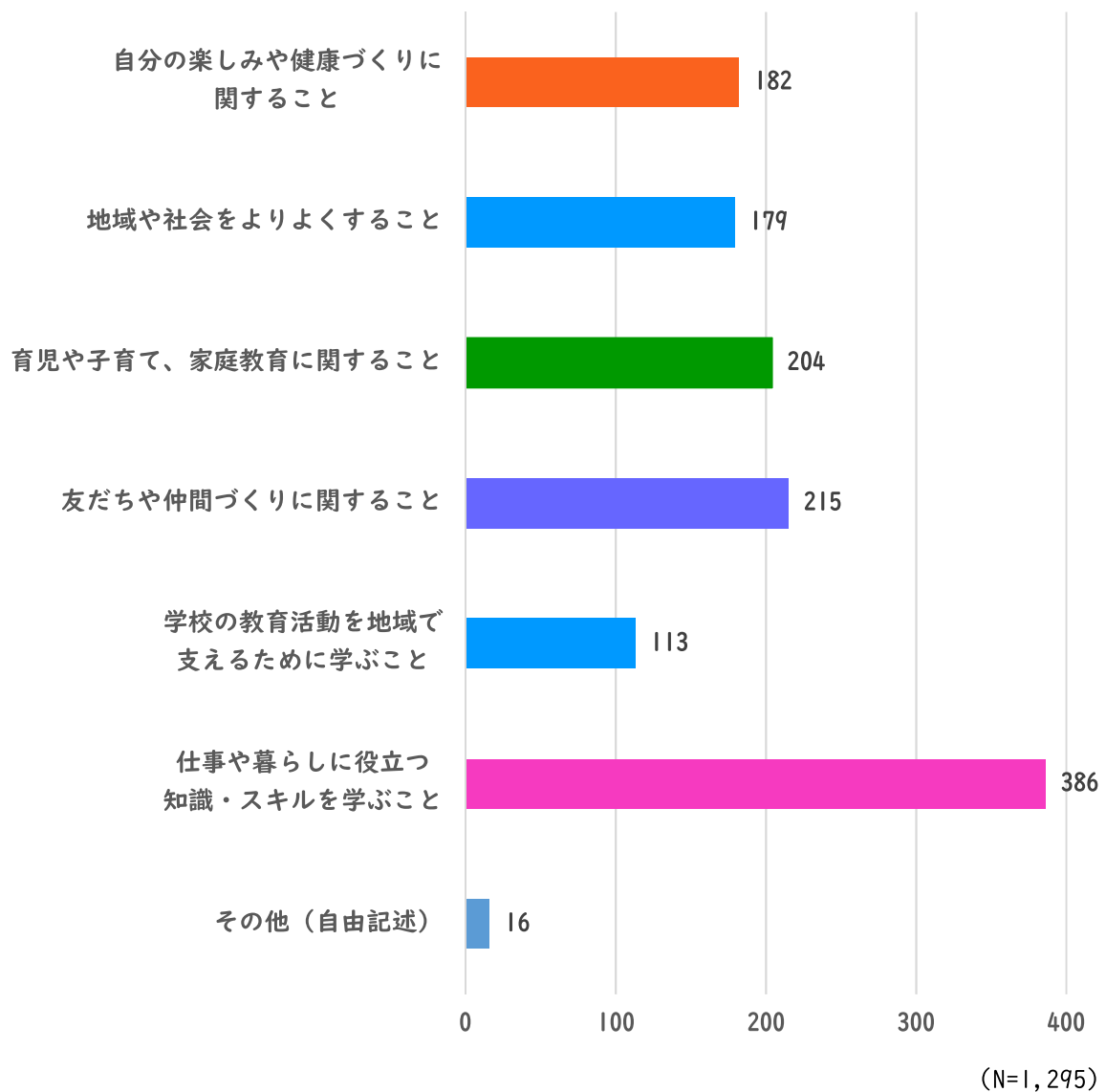


(N=1,295)

Q10 社会教育(地域での学び)について、どのような内容に関心がありますか？

「仕事や暮らしに役立つ知識・スキルを学ぶこと」が3割を占めており、実生活に生かすための実践的な学びを重要視していることがうかがえます。

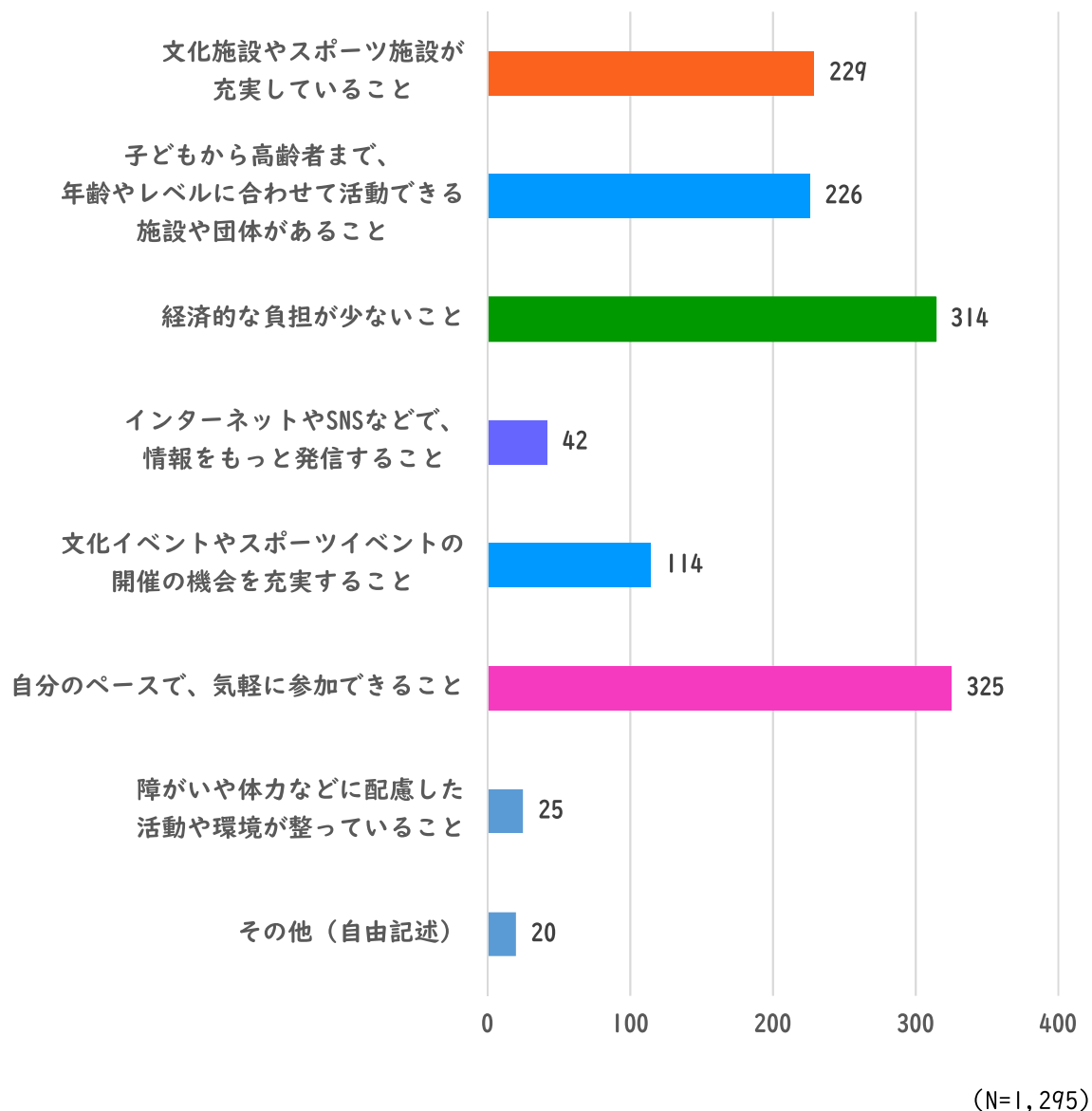
一方で、就学前児童の保護者で最も回答が多かった「育児や子育て、家庭教育に関すること」は16%となっています。



Q11 市民が文化やスポーツにもっと親しむために、必要だと思うことは何ですか？

「自分のペースで、気軽に参加できること」が25%、「経済的な負担が少ないこと」が24%と、就学前児童の保護者の回答と同じ傾向がみられました。

市民が文化やスポーツに親しむためには、参加への心理的・金銭的ハードルを下げるのが重要で、多世代・多様なレベルに合わせたイベントの開催や、自由参加型など気軽に参加できる機会を充実させることが求められます。

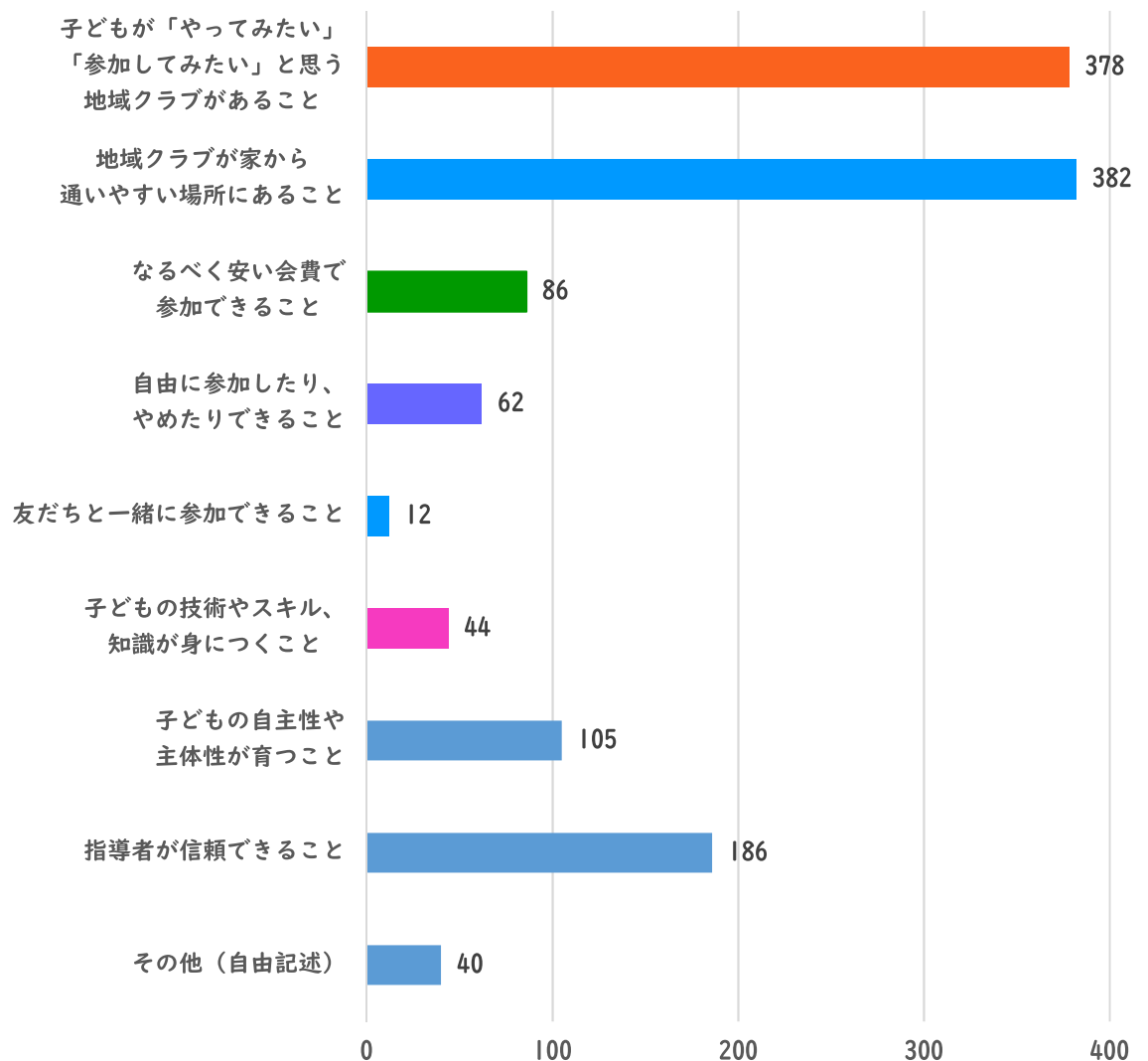


Q12 令和10年1月からは、中学校の部活動（運動部や文化部）がなくなり、各地域でのクラブ活動となります。

子どもが地域でのクラブ活動に参加するときに、大切だと思うことは何ですか？

「地域クラブが家から通いやすい場所にあること」及び「子どもが『やってみたい』『参加してみたい』と思う地域クラブがあること」がそれぞれ約3割となっています。

子どもがアクセスしやすく、子どもの興味や関心に応えられる地域クラブの数を確保していくことが求められています。



(N=1,295)

9 就学前児童の保護者向けアンケートにおける「自由記述」の内容

（同趣旨の意見等は一つにまとめるなど、要約しています。）

Q 1 就学前の子どもの学びで、大切だと思うことは何ですか？

- ・ 自然の中で遊びながら、体の動かし方や体温調節などの基礎的な身体づくりを行い、その過程で社会性や興味・関心を広げていくこと。
- ・ 集団生活の中で友だちと関わり、ルールを作り、遊びながら協調性を育む経験を重ねること。
- ・ 困ったときに「助けて」と言える力や、自分で考えて意思決定する力を身に付け、指示待ちにならない主体性を形成すること。
- ・ さまざまな物や環境に触れる体験を増やし、親子で過ごす時間を確保すること。
- ・ 文字や学習の早期化よりも、感性や非認知的な力を豊かに育むこと。

Q 2 これからの就学前の教育・保育について、さらに充実を図ってほしいことは何ですか？

- ・ 子どもが飽きるまで取り組める「ゆったりとした時間」を確保し、その日の子どもたちの声や関心に応える保育
- ・ 保護者・保育者・行政が集まり、現場のニーズを共有し合い、行政がしっかり把握して対応する場
- ・ 子ども主体で考え、遊べる環境（プール活動や水遊びの機会が減っている。）
- ・ 保育者の配置や人数を増やし、意識改革を進めるなど、人間的・制度的な支えの強化
- ・ 乳幼児期に親子で過ごす時間を確保できる社会的な環境づくり
- ・ I C T（特に、タブレット）の導入には慎重であってほしい。

Q 3 家庭や地域と園所が協力して子どもを育てるために、大切だと思うことは何ですか？

- ・ 子どもの成長や発達のプロセスを理解し、指示するよりも「思いを受け止める」姿勢で見守ること。
- ・ 地域や家庭が協力して、遊びや学びの場を確保すること。
- ・ 高齢者施設などの地域資源と園との交流機会

Q 4 園所の教育・保育活動において、多様な子どもたちを支えるために、必要だと思うことは何ですか？

- ・法制度の解釈や運用に縛られず、関係機関と連携して主体的に支援を進める行政の姿勢
- ・集団生活の場であることを入園前から保護者に丁寧に説明し、理解を深めること。
- ・保育士の増員（柔軟な働き方を可能にする待遇改善による人材の確保）
- ・集団生活になじめない子どもに人員を配置し、安心と安全を両立させること。
- ・保護者と保育者が情報を共有しやすい仕組みを整えること。

Q 5 園所の環境整備について、大切だと思うことは何ですか？

- ・自然に触れ、土や水と関わるができる環境
- ・園のニーズを丁寧に聞き取り、ソフト面とハード面の両方で行政が支援すること。
- ・保育者が心身に余裕を持って子どもに向き合える体制を整えること。
- ・人材を確保する責任を行政が明確に持つこと。

Q 6 園所の教育・保育活動において、一人一人の人権を大切にするために、必要だと思うことは何ですか？

- ・一人一人を尊重するだけでなく、集団生活の中で友達や先生から学び、気付きを得る経験を重ねること。
- ・「自分は大切な存在である」と感じられる場や活動（対話や交流活動など）を増やすこと。
- ・人権が損なわれるとどうなるのかを知る学びの機会を提供すること。
- ・保育者の人数を確保し、個別配慮を充実させること。

Q 7 あなたが家庭教育で大切にしていることは何ですか？

- ・自然や人を大切に幸せにするために、考え行動できる人に育てること。
- ・安全で清潔、安心できる生活環境を整え、能力を伸ばす機会を提供すること。

- ・子どもの気持ちを否定せず受け止め、笑顔やスキンシップ、愛情表現を欠かさないこと。
- ・基本的な生活や学びの習慣を付けつつ、興味や関心を尊重すること。
- ・悪いことをしても嘘をつかずに話せる信頼関係を築くこと。
- ・自己防衛力や感謝・謝罪をきちんと伝える力を育てること。

Q 8 社会教育（地域での学び）について、どのような内容に関心がありますか？

- ・地域の文化や自然、施設を活用した学び

Q 9 市民が文化やスポーツにもっと親しむために、必要だと思うことは何ですか？

- ・自由に使える時間と経済的な余裕を確保すること。
- ・身近に友人や活動場所があり、生活スタイルに合わせた多様な参加機会があること。
- ・託児や親子で同時に参加できる運動の機会
- ・暑さや雨天時にも利用できる冷房完備の体育館や屋内施設の整備

10 小・中学生の保護者向けアンケートにおける「自由記述」の内容

(同趣旨の意見等は一つにまとめるなど、要約しています。)

Q 1 子どもにとって、これからの学びで大切だと思うことは何ですか？

- ・自分で考え行動する力や、他者との関係性を大切にする力を育むこと。
- ・知識偏重ではなく、実社会での活用や創造的な学び
- ・失敗しても立ち直る力、他者を認める力、自分の思いや考えを表現する力など、非認知能力の育成
- ・SNSやインターネット環境の広がりに対応した、想像力や自己抑制力の育成
- ・一斉授業だけでなく、子どもが自ら問いをもって取り組める学びの在り方を考えること。
- ・知識を暗記するだけでなく、使って考える授業の充実

Q 2 子どもが「心も体も元気に育つ」ために、大切だと思うことは何ですか？

- ・愛情や信頼関係、自己肯定感を育む家庭・学校環境
- ・睡眠・食事・遊びなど、生活習慣の安定とバランス
- ・子どもの気持ちを理解し、安心して過ごせる場づくり
- ・ICT機器の利用に関する使用時間や内容の管理
- ・体を動かす機会や外遊びの時間の確保
- ・家庭内での安心感と学校での居場所づくりの両立

Q 3 あなたが家庭教育で大切にしていることは何ですか？

- ・子どもを一人の人間として尊重し、信頼関係を築くこと。
- ・子どもの考えを否定せず、ともに考える姿勢を持つこと。
- ・日々の会話やスキンシップを通じて、安心感や自己肯定感を育てること。
- ・親自身も学び続ける姿勢を持つこと。
- ・子どもの話をしっかり聞き、感情を受け止める姿勢を大事にすること。
- ・「しつけ」よりも、子どもとの対話や共感を重視すること。

Q 4 学校で子どもが安心して過ごすために、必要だと思うことは何ですか？

- ・子どもが安心して話せる関係づくりや、教職員への信頼

- ・ いじめやトラブルへの適切な対応
- ・ 教員の多忙化を踏まえたサポート体制やスクールカウンセラーの活用
- ・ 学級経営や学習支援における多様な視点での協働
- ・ 気になる子に対する丁寧なフォローや個別対応
- ・ ルールやマナーを丁寧に教えることで、安心できる学校文化を築くこと。

Q 5 多様な子どもたちを支えるために、必要だと思うことは何ですか？

- ・ 多様性の尊重と同時に、社会性やルールを身に付ける指導
- ・ 一人一人の違いを理解し支える体制整備（教員、支援員の配置など）
- ・ 異文化や障がいへの理解を深める機会の提供
- ・ 子どもの特性に応じた選択肢や居場所の充実
- ・ 家庭との連携を深め、家庭環境も含めた理解
- ・ 本人の気持ちを尊重しながら、周囲も安心して過ごせる環境づくり

Q 6 家庭や地域と学校が協力して子どもを育てるために、大切だと思うことは何ですか？

- ・ 子どもを中心に家庭・学校・地域が目標を共有して協働すること。
- ・ P T Aや地域ボランティアの関わり方を柔軟に見直すこと。
- ・ 対話や情報共有の場を通じた信頼関係づくり
- ・ 子どもの声に耳を傾け、大人もともに学び続ける姿勢
- ・ 地域行事や活動を通じた交流
- ・ 子どもにとって身近な大人の関わりを増やすことで、社会全体での育ちを支えるという考え

Q 7 タブレットやパソコンを使った学びについて、大切だと思うことは何ですか？

- ・ タブレットはあくまで補助的に活用し、書く力・読む力も重視すべき。
- ・ 使いすぎによる視力・姿勢・集中力への影響が懸念される。
- ・ 情報リテラシーやA Iの扱い方についての教育の強化
- ・ 紙とタブレットを併用した創造的な活用方法の工夫
- ・ I C Tに振り回されず、子ども同士の対話や手書きのよさも大切にしたい。
- ・ 家庭での学習管理とのバランスや、使用目的の明確化

Q 8 学校の環境整備について、大切だと思うことは何ですか？

- ・ 空調設備やトイレの洋式化、熱中症対策などの施設整備
- ・ 教員の時間的・精神的余裕を生み出す人的支援体制の充実
- ・ 防犯対策やスクールカウンセラーの配置など、安心・安全に関する整備
- ・ 学習以外の子どもたちの遊びや交流の場
- ・ 運動場や図書館などの施設利用の工夫や改善
- ・ 学校全体として居心地のよさを意識した環境の整備

Q 9 一人一人の人権を大切にするために、必要だと思うことは何ですか？

- ・ 違いを認め合い、自他を尊重する姿勢を育てること。
- ・ 大人が手本を示し、子どもとともに人権について考える姿勢
- ・ 知識を押しつけるのではなく、対話を通じて考える力を育む指導
- ・ 相互理解の積み重ねを大切にすること。
- ・ 子ども同士の違いを比べるのではなく、互いのよさに気付ける機会づくり
- ・ 家庭や地域と連携した人権教育

Q 10 社会教育（地域での学び）について、どのような内容に関心がありますか？

- ・ 地元の文化や歴史、特産品に触れる活動
- ・ 大人と子どもが一緒に地域や社会の課題について考える機会
- ・ 体験活動やボランティア、地域づくり活動への参加機会を広げること。

Q 11 市民が文化やスポーツにもっと親しむために、必要だと思うことは何ですか？

- ・ 文化やスポーツ活動への参加に伴う費用や移動・時間の負担の軽減
- ・ 施設利用のしやすさや情報提供の工夫、経済的支援、複数回体験の機会提供など、参加のハードルを下げる取組

Q 12 令和 10 年 1 月からは、中学校の部活動（運動部や文化部）がなくなり、各地域でのクラブ活動となります。

子どもが地域でのクラブ活動に参加するときに、大切だと思うことは何ですか？

- ・送迎や費用の負担を減らし、通しやすい距離に活動場所を確保すること。
- ・指導者の質や安全管理の向上
- ・ハラスメント防止対策の整備
- ・初心者や多様な子どもが安心して参加できる環境整備
- ・公的支援や学校施設の活用
- ・子どもの意見を反映する仕組みを設けること。

児童（小学１年生～小学３年生）向けアンケート（３問）

■しつもん１ あなたが がっこうで たのしい ことは なんですか。
つぎの なかから ひとつだけ えらんで ください。

1. べんきょう すること
2. ともだちと あそんだり はなしたり すること
3. せんせいと あそんだり はなしたり すること
4. かかりや とうばんの しごとを すること
5. きゅうしょくを たべること
6. うんどうかいや えんそくに さんか すること
7. いろいろな ひとに あえること

■しつもん２ あなたが がっこうの べんきょうで たのしい ことは なんですか。つぎの なかから ひとつだけ えらんで ください。

1. じを かくこと
2. けいさんすること
3. ほんを よむこと
4. しらなかった ことが わかるように なること
5. できなかった ことが できるように なること
6. せんせいや ともだちと はなしたり かんがえたり すること
7. えを かくこと
8. うたを うたったり がっきを えんそうしたり すること
9. そとで あそんだり うんどう したり すること

■しつもん３ どんな がっこうが たのしい ですか。
つぎの なかから ひとつだけ えらんで ください。

1. べんきょうが もっと たのしい がっこう
2. みんなが げんきな がっこう
3. みんなが なかよしの がっこう
4. せんせいと たくさん おはなし できる がっこう
5. こまっていたら たすけて もらえる がっこう
6. きょうしつが きれいで つかいやすい がっこう

児童生徒（小学4年生～中学3年生）向けアンケート（6問）

このアンケートは、三木市の教育をよりよくするために使います。
学校のことや毎日の暮らしの中で感じている「気持ち」や「考え」を聞かせてください。
もっとも当てはまるものを1つだけ選んでください。

Q1 学校や家で学習するときに、大切だと思うことは何ですか？

1. 本を読んだり、文を書いたり、計算の練習をしたりすること
2. 自分の考えを人に話したり、文章で伝えたりすること
3. 学校でも家でも、自分から進んで学習すること
4. クラスの友だちといっしょに考えたり、教え合ったりして学ぶこと
5. タブレットなどを使って、必要な情報を集めて学習すること
6. どれにもあてはまらない
7. よくわからない

Q2 毎日を元気に過ごすために、自分で大切にしたいことは何ですか？

1. まわりの人と仲よくしたり、困っている人に優しくしたりすること
2. 歌をうたったり、絵を描いたり、花や木などの自然にふれたりすること
3. スポーツをしたり、外で遊んで体を動かしたりすること
4. 夜はぐっすり寝て、朝ご飯をしっかりと食べるなど、体によい生活を送ること
5. 一人で本を読んだり、音楽をきいたり、のんびり過ごすこと
6. どれにもあてはまらない
7. よくわからない

Q3 ^{がっこう}学校で^{あんしん}安心して^す過ごすために、^{たいせつ}大切だと思^{おも}うことは何^{なん}ですか？

1. ^{とうげこう}登下校のときに^{みまも}見守ってくれること
2. ^{せんせい}先生や^{とも}友だちが^{やさ}優しく^{はなし}話を^き聞いてくれること
3. ^{じぶん}自分の^{きも}気持ちや^{かんが}考^{あんしん}えを安心して^い言えること
4. ^{とも}友だちと^{なか}仲よく^す過ごせること
5. ^{きょうしつ}教室やトイレがきれいで、^{きも}気持ちよく^す過ごせること
6. どれにもあてはまらない
7. よくわからない

Q4 タブレットやインターネットを^{つか}使うときに、どんなことができるかと思^{おも}いますか？

1. わからないときに、すぐに^{しら}調べられること
2. すきなことや^し知りたいことを、^{じぶん}自分のペースで^{まな}学べるアプリや^{どうが}動画があること
3. ^{とも}友だちと^{かんが}いっしょに^{はな}考^{はな}えたり、話したりできること
4. インターネットの^{じょうほう}情^{ほんとう}報が本当かどうか、^み見^わ分ける^{ちから}力がつくこと
5. どれにもあてはまらない
6. よくわからない

Q5 ^{がっこう}学校が^{やす}休みの日には、何^ひをして^{なに}過^すぎしていることが多^{おお}いのですか？

1. ^{じぶん}自分の^す好きなことをしている
2. ^{スポーツ}スポーツをしたり、^{そと}外で^{あそ}遊^{からだ}んで^{うご}体を動かしたりしている
3. インターネットを^み見たり、ゲームをしたりしている
4. ^{べんきょう}勉強している
5. ボランティア^{かつどう}活動やお手伝^{てつだ}いをしている
6. ^{とも}友だちと^あ会^{はな}って話したり、^{あそ}遊んだりしている
7. ^{ちいき}地域の^{ぎょうじ}行事や^{かつどう}活動に^{さんか}参加している
8. ^{かぞく}家族と^す過^すぎしている
9. どれにもあてはまらない
10. よくわからない

Q6 ^{れい わ} 令和10年1月からは、^{ねん が つ} 中学校の部活動（^{ちゅう が っ こ う} 運動部や^{ぶ か つ ど う} 文化部）^{う ん ど う ぶ} がなくなり、^{ぶ ん か ぶ} みなさん
^す が住むそれぞれの^{ち い き} 地域での^{か つ ど う} クラブ活動となります。
^{ち い き} 地域での^{か つ ど う} クラブ活動に参加するときに、^{さん か} 大切だと思^{たい せ つ} うことは何^{おも} ですか？^{なん}

1. ^{じ ぶ ん} 自分が「やってみたい」「参加してみたい」と思^{さん か} う^{おも} 地域^{ち い き} クラブがあること
2. ^{ち い き} 地域クラブが^{いえ} 家から^{か よ} 通^か いやすい^{ば し ょ} 場所にあること
3. ^{じ ゆ う} 自由に^{さん か} 参加したり、やめたりできること
4. ^{と も} 友だちといっしょに^{さん か} 参加できること
5. ^{れ ん し ゅ う} 練習して、うまくなること
6. ^{お し} コーチなど、^{ひ と} 教える人^{し た} が親しみやすいこと
7. どれにもあてはまらない
8. よくわからない

就学前児童の保護者向けアンケート（9問）

このアンケートは、皆様の声を参考にして、今後の三木市の「保育」や「まちづくり」をよりよいものにしていくために使います。

今後の三木市の「保育」や「まちづくり」について、率直なご意見をお聞かせください。

最も当てはまるものを1つだけ選んでください。

Q1 就学前の子どもの学びで、大切だと思うことは何ですか？

1. 戸外で体を動かして遊ぶこと
2. 食事や衣服の調節など、生活習慣を身につけること
3. あきらめずに根気よく頑張ろうとする意欲を持つこと
4. 社会生活のルールやきまりの大切さがわかり、守ること
5. 身近な大人や友だちと親しみをもってかかわること
6. 身近な動植物にふれることなどを通して、豊かな感性や思いやりの心を持つこと
7. 数量や文字などに関する興味や関心を持つこと
8. 感じたことや考えたことを伝えたり、相手の話を聞いたりすること
9. その他（自由記述）

Q2 これからの就学前の教育・保育について、さらに充実を図ってほしいことは何ですか？

1. さまざまな経験を通して、子どもの興味や関心を広げること
2. 子どもが自ら考えたり工夫したりしながら、主体的に遊び、生活すること
3. 子ども一人一人に応じた細やかな支援を行うこと
4. 自分や友だちのことを大切にできるようなかかわりをする事
5. 数量や文字、外国語などに関する興味や関心を育むこと
6. タブレットなどを遊びや生活に取り入れること
7. 小学校や地域と連携すること
8. 子育てに関する情報提供や相談できる場を充実すること
9. その他（自由記述）

Q3 家庭や地域と園所が協力して子どもを育てるために、大切だと思うことは何ですか？

1. 家庭・地域・園所で共通の目標を持つこと
2. 日頃から、情報共有や話し合いがあること
3. お互いの立場を理解して、子ども中心で考えること
4. 地域の人材や文化を生かした学びがあること
5. 家庭や地域が、子どもの成長を温かく見守り、応援すること
6. その他（自由記述）

Q4 園所の教育・保育活動において、多様な子どもたちを支えるために、必要だと思うことは何ですか？

1. 一人一人の違いを理解して、認め合うこと
2. どの子どもも、自分の力を発揮できる機会があること
3. 障がいのある子どもや、支援が必要な子どもが安心して過ごせる環境があること
4. 保育者が多様な子どもたちに対応できるよう、資質を高めること
5. 家庭や園所、地域や専門機関などとの連携を強め、協力すること
6. その他（自由記述）

Q5 園所の環境整備について、大切だと思うことは何ですか？

1. 保育室が過ごしやすい環境であること
2. トイレなど、衛生的で使いやすい設備があること
3. 障がいのある子どもや外国にルーツを持つ子どもなど、誰もが安心して過ごせる環境があること
4. 防犯・防災対策により、子どもたちが安心して通えること
5. 保育者が子どもたち一人一人に寄り添う時間をしっかりと持てるような環境が整っていること
6. その他（自由記述）

Q6 園所の教育・保育活動において、一人一人の人権を大切にするために、必要だと思うことは何ですか？

1. 一人一人が大切にされることを学ぶ機会があること
2. よいことや悪いことがあることがわかり、考えながら行動すること
3. 誰もが自分の思いや意見を表現できる場があること
4. 困ったときに受け止めてもらえる人がいること
5. 自分と違う考えや文化を持つ人がいることに気づき、認め合うこと
6. その他（自由記述）

Q7 あなたが家庭教育で大切にしていることは何ですか？

1. 子どもに愛情をそそぎ、日々のかかわりを通じて信頼関係を築くこと
2. 人に優しく、思いやりのある子どもに育てること
3. 早寝早起きやあいさつ、片付けなど、基本的な生活習慣を身につけさせること
4. 社会的なマナーやルールを身につけさせること
5. 子どもが自分で考えて行動する力を育てること
6. 本を読んだり、自然にふれたりして、学ぶことの楽しさを経験させること
7. 困ったときや失敗したときに、子どもを受け止めて支えること
8. その他（自由記述）

Q8 社会教育（地域での学び）について、どのような内容に関心がありますか？

1. 自分の楽しみや健康づくりに関すること
2. 地域や社会をよりよくすること
3. 育児や子育て、家庭教育に関すること
4. 友だちや仲間づくりに関すること
5. 学校園所の教育活動を地域で支えるために学ぶこと
6. 仕事や暮らしに役立つ知識・スキルを学ぶこと
7. その他（自由記述）

Q9 市民が文化やスポーツにもっと親しむために、必要だと思うことは何ですか？

1. 文化施設やスポーツ施設が充実していること
2. 子どもから高齢者まで、年齢やレベルに合わせて活動できる施設や団体があること
3. 経済的な負担が少ないこと
4. インターネットや SNS など、情報をもっと発信すること
5. 文化イベントやスポーツイベントの開催の機会を充実すること
6. 自分のペースで、気軽に参加できること
7. 障がいや体力などに配慮した活動や環境が整っていること
8. その他（自由記述）

小・中学生の保護者向けアンケート（12問）

このアンケートは、皆様の声を参考にして、今後の三木市の「教育」や「まちづくり」をよりよいものにしていくために使います。

今後の三木市の「教育」や「まちづくり」について、率直なご意見をお聞かせください。

最も当てはまるものを1つだけ選んでください。

Q1 子どもにとって、これからの学びで大切だと思うことは何ですか？

1. 読み書きや計算など、基礎的な力を身につけること
2. 自分の思いや考えを人に伝えたり、表現したりすること
3. 学校や家で、自分から進んで学ぼうとすること
4. 友だちと協力して学ぶこと
5. タブレットなどを使って、自分に合った方法で学ぶこと
6. 社会とのつながりや、実際の生活に役立つことを学ぶこと
7. その他（自由記述）

Q2 子どもが「心も体も元気に育つ」ために、大切だと思うことは何ですか？

1. よく眠り、朝ごはんを食べるなど、生活習慣を整えること
2. あいさつやそうじなど、日常生活を大切にすること
3. 信頼できる先生や友だちがいること
4. 困ったときに相談できる人がいること
5. 自分の気持ちを伝えたり、気持ちをコントロールしたりする力を育てること
6. 芸術や自然にふれる体験活動をする事
7. その他（自由記述）

Q3 あなたが家庭教育で大切にしていることは何ですか？

1. 子どもに愛情をそそぎ、日々のかかわりを通じて信頼関係を築くこと
2. 人に優しく、思いやりのある子どもに育てること
3. 早寝早起きやあいさつ、片付けなど、基本的な生活習慣を身につけさせること
4. 社会的なマナーやルールを身につけさせること
5. 子どもが自分で考えて行動する力を育てること
6. 本を読んだり、自然にふれたりして、学ぶことの楽しさを経験させること
7. 困ったときや失敗したときに、子どもを受け止めて支えること
8. その他（自由記述）

Q4 学校で子どもが安心して過ごすために、必要だと思うことは何ですか？

1. 見守りやパトロールなど、安全への配慮があること
2. 事件や事故のときに、すぐに対応できる体制があること
3. 自分の気持ちや考えを、安心して話せる雰囲気があること
4. 困ったときに相談できる先生がいて、相談できる場所があること
5. 子どもどうしが仲よくできるよう、周りの人が関係づくりを支えてくれること
6. インターネットや SNS を安心して使えるよう、学校でトラブルを防ぐ学習があること
7. 教室やトイレなどの環境が整っていること
8. その他（自由記述）

Q5 多様な子どもたちを支えるために、必要だと思うことは何ですか？

1. 一人一人の違いを理解して、認め合うこと
2. どの子どもも、自分の力を発揮できる機会があること
3. 障がいのある子どもや、支援が必要な子どもが安心して学べる環境があること
4. 教職員が多様な子どもたちに対応できるよう、資質を高めること
5. 家庭や学校、地域や専門機関などとの連携を強め、協力すること
6. その他（自由記述）

Q6 家庭や地域と学校が協力して子どもを育てるために、大切だと思うことは何ですか？

1. 家庭・地域・学校で共通の目標を持つこと
2. 日頃から、情報共有や話し合いがあること
3. お互いの立場を理解して、子ども中心で考えること
4. 地域の人材や文化を生かした学びがあること
5. 家庭や地域が、子どもの成長を温かく見守り、応援すること
6. その他（自由記述）

Q7 タブレットやパソコンを使った学びについて、大切だと思うことは何ですか？

1. 自分のペースで学べる機会を増やすこと
2. 困ったときに助けてくれる大人がいること
3. 正しい情報の見分け方を学べること
4. 友だちと協力して ICT を使う学びがあること
5. 長時間使いすぎないように、健康や安全への配慮があること
6. その他（自由記述）

Q8 学校の環境整備について、大切だと思うことは何ですか？

1. 教室が過ごしやすい環境であること
2. トイレなど、衛生的で使いやすい設備があること
3. 障がいのある子どもや外国にルーツを持つ子どもなど、誰もが安心して過ごせる環境があること
4. 防犯・防災対策により、子どもたちが安心して通えること
5. デジタル機器や ICT 機器が整備され、学びに活用できること
6. 教職員が子どもたち一人一人に寄り添う時間をしっかりと持てるような環境が整っていること
7. その他（自由記述）

Q9 一人一人の人権を大切にするために、必要だと思うことは何ですか？

1. 人権学習など、一人一人が大切にされることを学ぶ機会があること
2. いじめや差別に、見て見ぬふりをしないこと
3. 誰もが自分の意見を言える場があること
4. 困ったときに相談できる人がいて、相談できる場所があること
5. SNS やメディアの情報にまどわされず、自分で考える力を育てること
6. 自分と違う考えや文化を持つ人への理解を深める学びがあること
7. その他（自由記述）

Q10 社会教育（地域での学び）について、どのような内容に関心がありますか？

1. 自分の楽しみや健康づくりに関すること
2. 地域や社会をよりよくすること
3. 育児や子育て、家庭教育に関すること
4. 友だちや仲間づくりに関すること
5. 学校の教育活動を地域で支えるために学ぶこと
6. 仕事や暮らしに役立つ知識・スキルを学ぶこと
7. その他（自由記述）

Q11 市民が文化やスポーツにもっと親しむために、必要だと思うことは何ですか？

1. 文化施設やスポーツ施設が充実していること
2. 子どもから高齢者まで、年齢やレベルに合わせて活動できる施設や団体があること
3. 経済的な負担が少ないこと
4. インターネットや SNS など、情報をもっと発信すること
5. 文化イベントやスポーツイベントの開催の機会を充実すること
6. 自分のペースで、気軽に参加できること
7. 障がいや体力などに配慮した活動や環境が整っていること
8. その他（自由記述）

Q12 令和10年1月からは、中学校の部活動（運動部や文化部）がなくなり、各地域でのクラブ活動となります。

子どもが地域でのクラブ活動に参加するときに、大切だと思うことは何ですか？

1. 子どもが「やってみたい」「参加してみたい」と思う地域クラブがあること
2. 地域クラブが家から通いやすい場所にあること
3. なるべく安い会費で参加できること
4. 自由に参加したり、やめたりできること
5. 友だちと一緒に参加できること
6. 子どもの技術やスキル、知識が身につくこと
7. 子どもの自主性や主体性が育つこと
8. 指導者が信頼できること
9. その他（自由記述）

「第４期三木市教育振興基本計画」の策定に向けた
こども等を対象とした意見聴取（アンケート）
実施結果報告書

2025（令和７）年８月作成

三木市教育委員会 教育総務部 教育総務課
〒673-0492 兵庫県三木市上の丸町１０番３０号
TEL：0794-82-2000（代） FAX：0794-83-3699